

企業価値向上に向けた取り組みに関するアンケート 集計結果一覧（2018年度版）

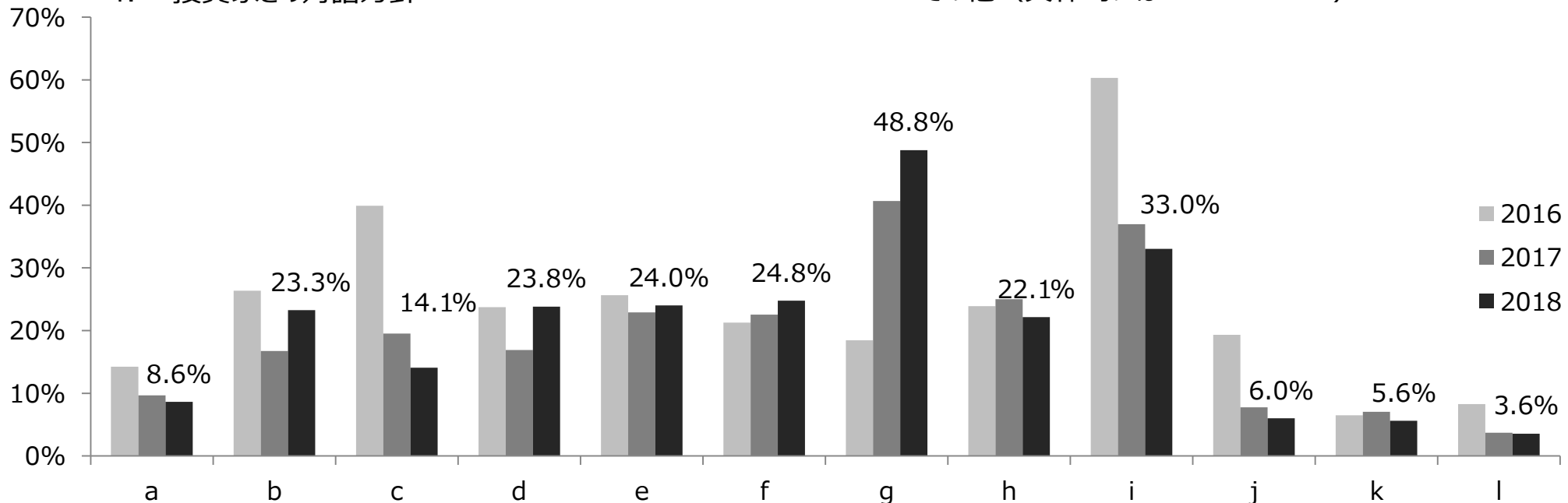
企業様向けアンケート

※今年度より、無回答を除いた有効回答数で算出しております。
※比較の都合上、企業・投資家それぞれのアンケート資料と本資料とでは、選択肢が異なっている設問があります。

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(1) 持続的な成長と中長期的な株式価値向上の観点から、コーポレート・ガバナンスに関して課題に感じていること、もしくは今後特に取り組みを強化しようとしていることをお答え下さい。
 (3つまで選択可)

- | | |
|---------------|----------------|
| a. 機関設計 | g. 経営計画・経営戦略 |
| b. 取締役会の人数・構成 | h. 情報開示 |
| c. 独立した社外役員 | i. 取締役会の実効性の評価 |
| d. 経営幹部の指名手続き | j. 株主総会運営 |
| e. 役員報酬決定体系 | k. 特段なし |
| f. 投資家との対話方針 | l. その他（具体的には |

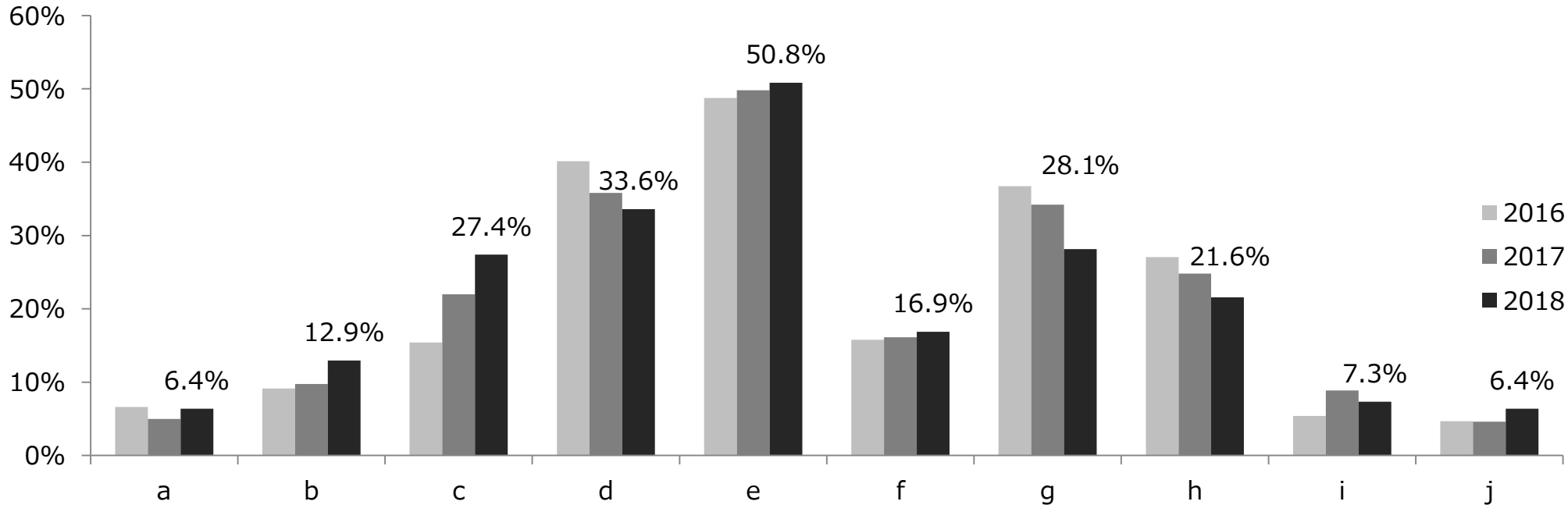


(回答数:2018年度:533, 2017年度:568,2016年度:558)

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(2) 取締役会の実効性向上に向けて、現時点で課題に感じていること、もしくは今後特に取り組みを強化しようとしていることをお答え下さい。(3つまで選択可)

- a. 機関設計
- b. 社外役員の拡充
- c. 取締役会全体の経験や専門性のバランス
- d. 社外役員が機能発揮できる環境整備
- e. 上程議案見直し・絞り込みによる重要事項に関する議論の充実
- f. 投資家意見の取締役会へのフィードバック
- g. 取締役会議題の事前説明の充実
- h. 取締役会に対するトレーニング
- i. 特段なし
- j. その他（具体的には ）



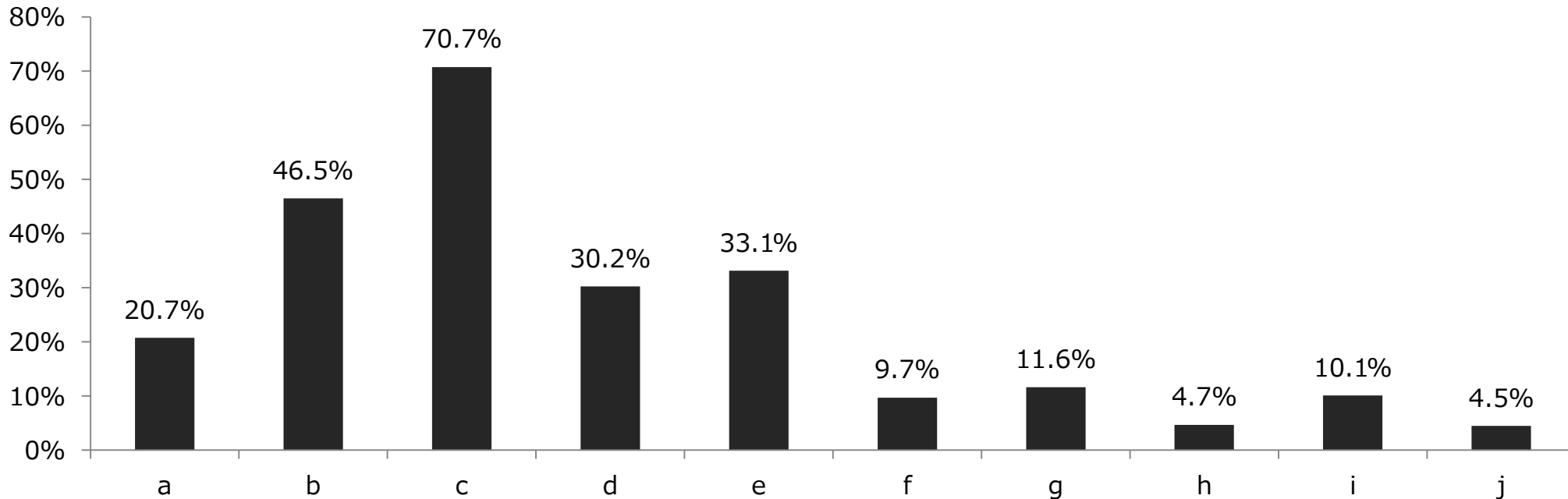
(回答数:2018年度:533, 2017年度:564,2016年度:558)

「その他」の回答例：中長期的な企業価値向上を意識した議論・意見交換、社外取締役の助言を事業執行に反映させていく仕組みづくり

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(3) 取締役会の議題として、今後より重点的に取り上げたいテーマをお答え下さい。
(3つまで選択可)

- a. 決算・業績の進捗・振り返り
- b. 経営目標・指標の適切性
- c. 経営戦略立案
- d. リスク管理
- e. コーポレート・ガバナンス体制
- f. 投資家との対話内容
- g. コンプライアンス関連
- h. 役員報酬
- i. 人事・人材管理
- j. その他（具体的には)



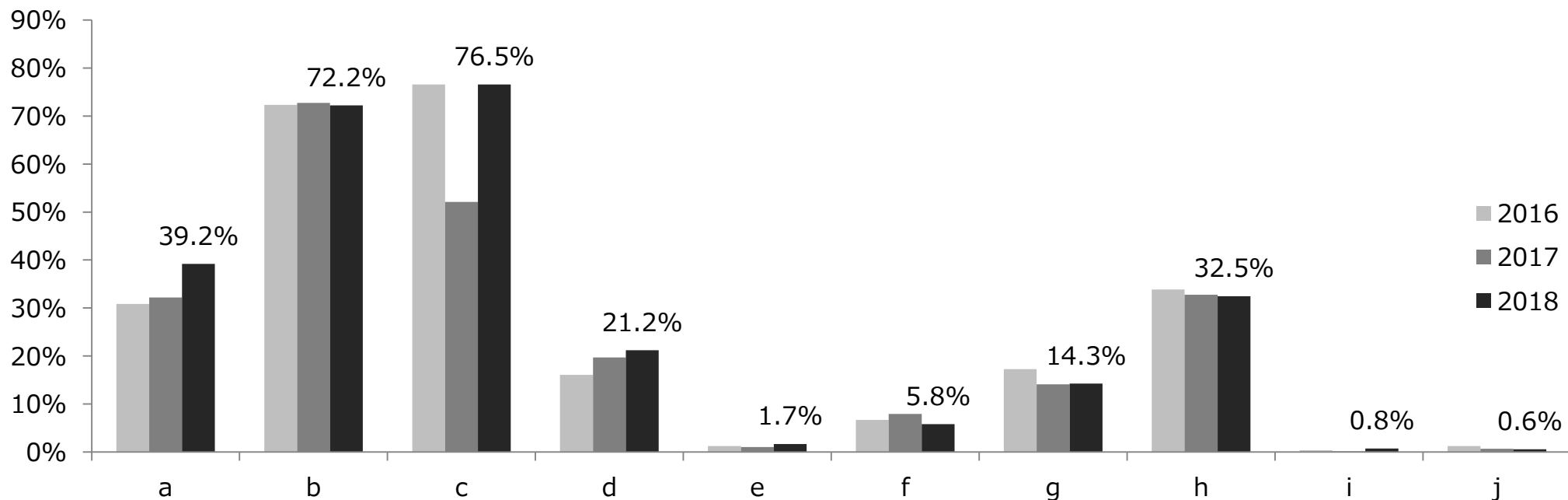
(回答数:2018年度:516)

「その他」の回答例：中長期的な経営戦略、ESG/SDGsに関する議論の拡充

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(4) 社外取締役に期待している役割の中で特に重要だと感じるものをお答え下さい。(3つまで選択可)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| a. 経営陣の評価（選解任・報酬）への関与・助言 | f. 利益相反行為の抑止 |
| b. 経営執行に対する助言 | g. 少数株主をはじめとするステークホルダーの意見を
経営に反映 |
| c. 経営戦略、重要案件等に対する意思決定を通じた監督 | h. 会計や法律等専門家としての助言 |
| d. 不祥事の未然防止に向けた体制の監督 | i. 特に期待しておらず選任していない |
| e. 投資家との対話 | j. その他（具体的には ） |

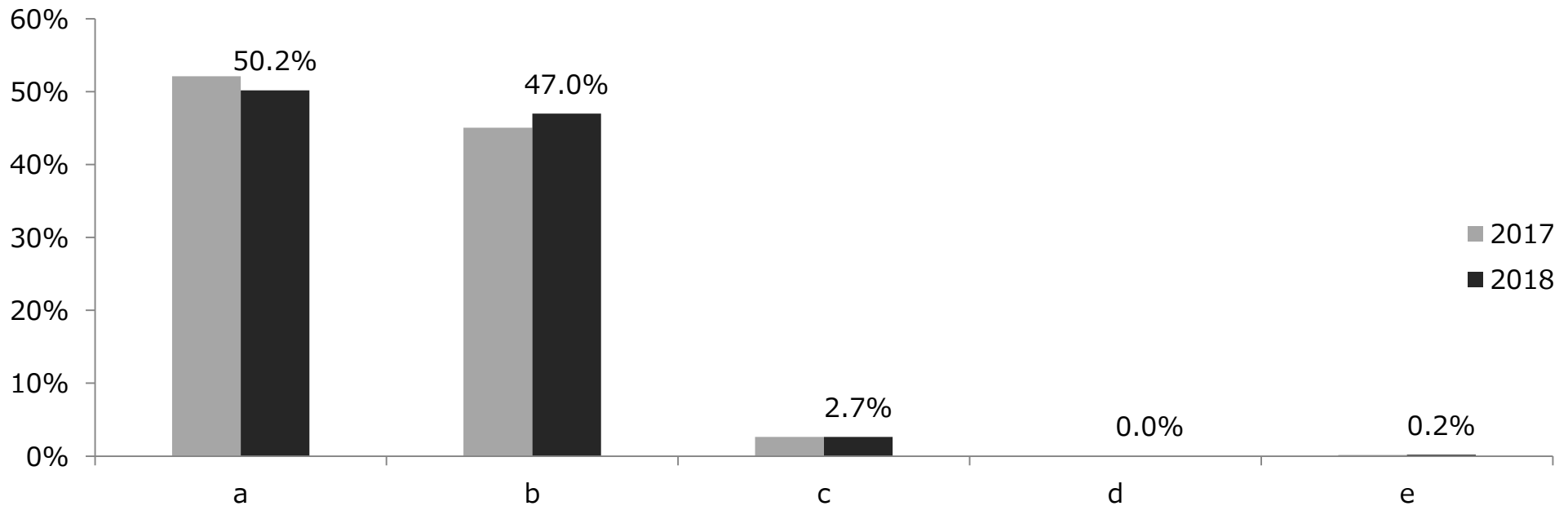


(回答数:2018年度:533, 2017年度:568,2016年度:567)

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(5) 社外取締役を選任している企業にお伺いします。(4) で回答頂いた社外取締役に期待している役割は、現状果たされているとお考えですか。(1つのみ選択可)

- a. 期待どおり十分に果たされている
- b. 一定程度果たされている
- c. 不十分であり、改善の余地がある
- d. 全く果たされていない
- e. その他（具体的には ）

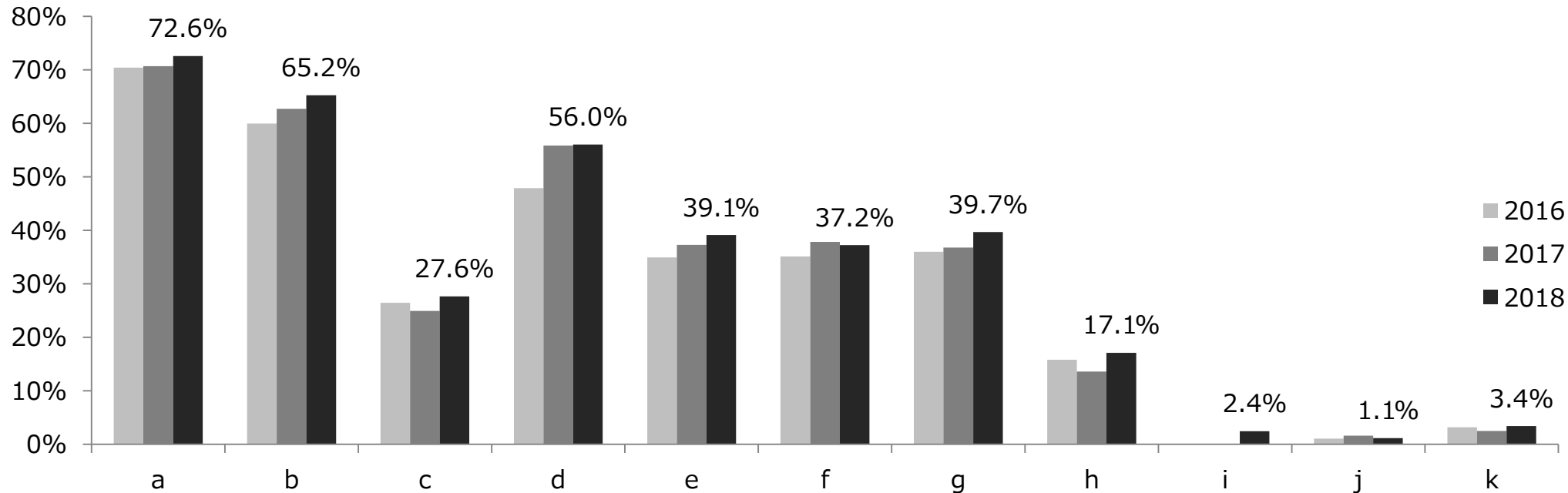


(回答数:2018年度:528, 2017年度:566)

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(6) 社外取締役を選任している企業にお伺いします。社外取締役の機能発揮に向けて実施している取り組みをお答え下さい。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| a. 社外取締役に対する取締役会議題の事前説明の充実 | f. 経営理解促進を目的とした取り組みの実施 |
| b. 社外取締役の独立性の確保 | g. 指名・報酬等の検討を行う諮問委員会の活用 |
| c. 社外取締役の経営会議・執行役員会議等への出席 | h. 社外取締役の取締役会における比率向上 |
| d. 社外取締役と経営トップ（社長等）との定期的な意見交換会の実施 | i. 投資家との対話 |
| e. 社外取締役同士の定期的な意見交換会の実施 | j. 特段なし |
| | k. その他（具体的には ） |



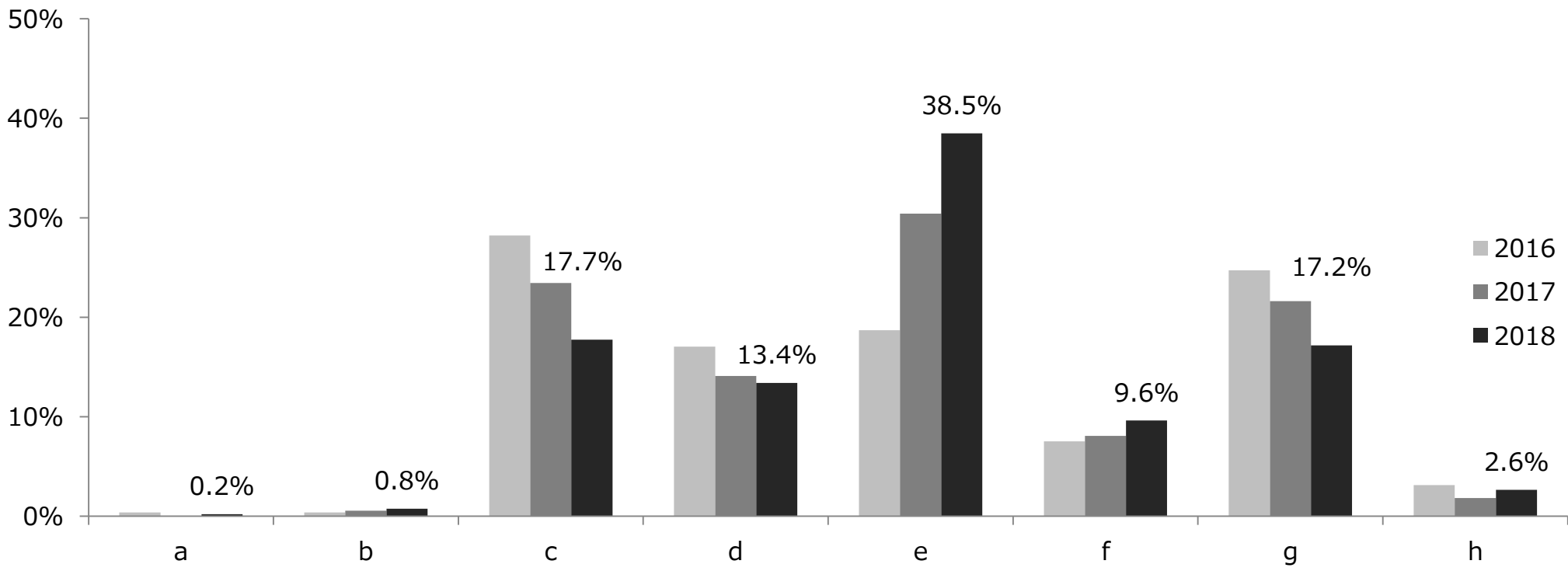
(回答数:2018年度:532, 2017年度:566,2016年度:564)

「その他」の回答例：社外取締役と社長・執行部門との定期的な意見交換会の実施、事業内容の理解促進（施設見学、グループ会社見学等）

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(7) 社外取締役の人数・取締役会に占める比率について、中長期的に望ましいと思う水準をお答え下さい。(1つのみ選択可)

- a. 0名
- b. 1名以上
- c. 2名以上
- d. 3名以上
- e. 取締役会の1/3以上
- f. 取締役会の1/2以上
- g. 数・比率には拘らない
- h. その他(具体的には)



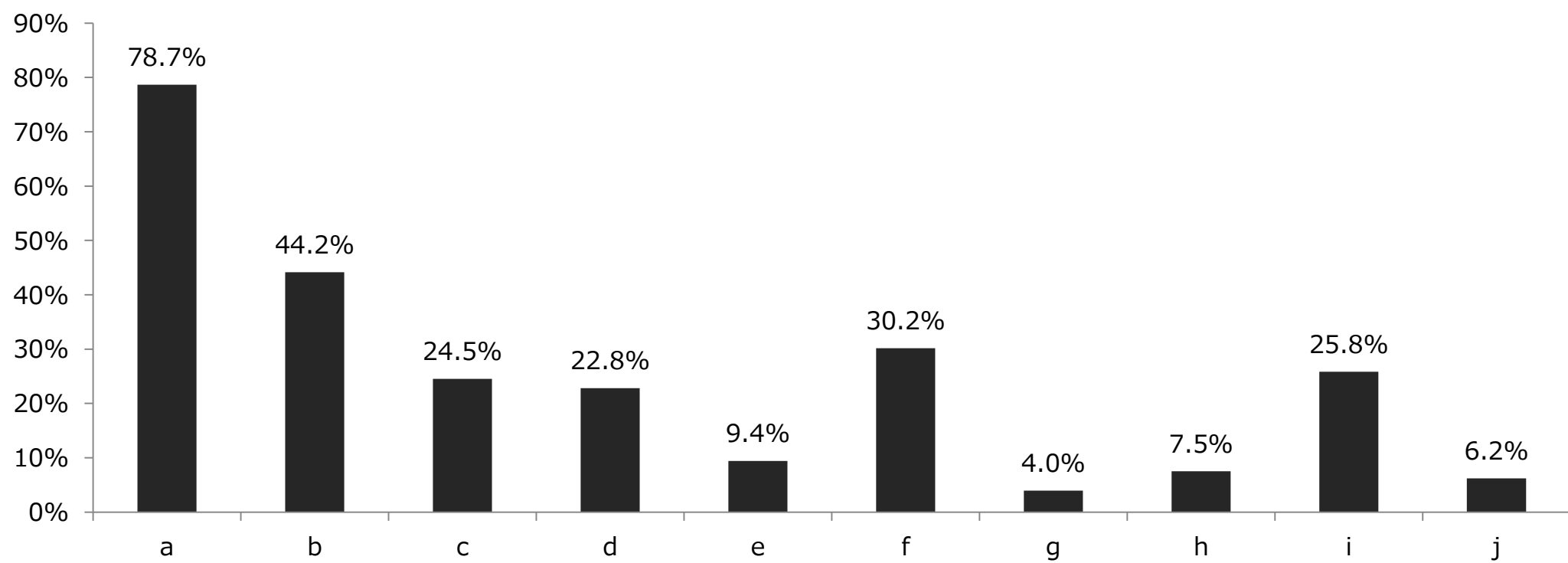
(回答数:2018年度:530, 2017年度:553,2016年度:546)

「その他」の回答例：単純に数や比率の観点だけでは判断できないとの認識、質が重要。量では無い。

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(8) 社外取締役を求める経験・スキル・属性等をお答え下さい。(3つまで選択可)

- a. 他社の経営経験
- b. 自社の業界知識・ビジネスへの理解
- c. 海外ビジネス経験
- d. 会計の専門知識
- e. 金融の専門知識
- f. 法律の専門知識
- g. 公職経験
- h. 学識経験者
- i. ダイバーシティ（外国人・女性等）
- j. その他（具体的には ）



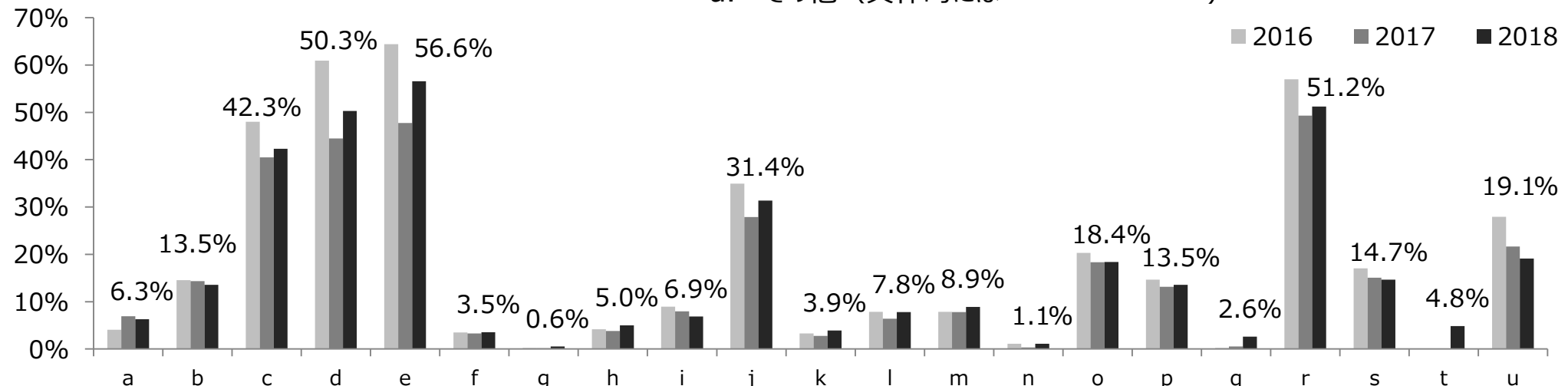
(回答数:2018年度:530)

「その他」の回答例：様々な分野での貴重な実務経験と高い見識、異業種での知見

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(1) 中期経営計画において公表している重要な成果指標（KPI）を全てお答え下さい。
 （複数選択可）

- a. 中期経営計画を公表しているが、KPIは公表していない
 b. 中期経営計画を公表していない
 c. 売上高利益率
 d. 売上高・売上高の伸び率
 e. 利益額・利益の伸び率
 f. 市場占有率（シェア）
 g. 経済付加価値（EVA®）
 h. ROIC（投下資本利益率）
 i. FCF（フリーキャッシュフロー）
 j. 配当性向（配当／当期利益）
 k. 株主資本配当率（DOE）（ $DOE=ROE \times \text{配当性向}$ ）
 l. 配当総額または1株当たりの配当額
 m. 総還元性向（（配当＋自己株式取得）／当期利益）
 n. 配当利回り（1株当たり配当／株価）
 o. 自己資本比率（自己資本／総資本）
 p. DELシオ（有利子負債／自己資本）
 q. 資本コスト（WACC等）
 r. ROE（株主資本利益率）
 s. ROA（総資本利益率）
 t. ESG取組みに関する指標（CO2排出量、女性管理職比率等）
 u. その他（具体的には）



(回答数:2018年度:539, 2017年度:578,2016年度:458)

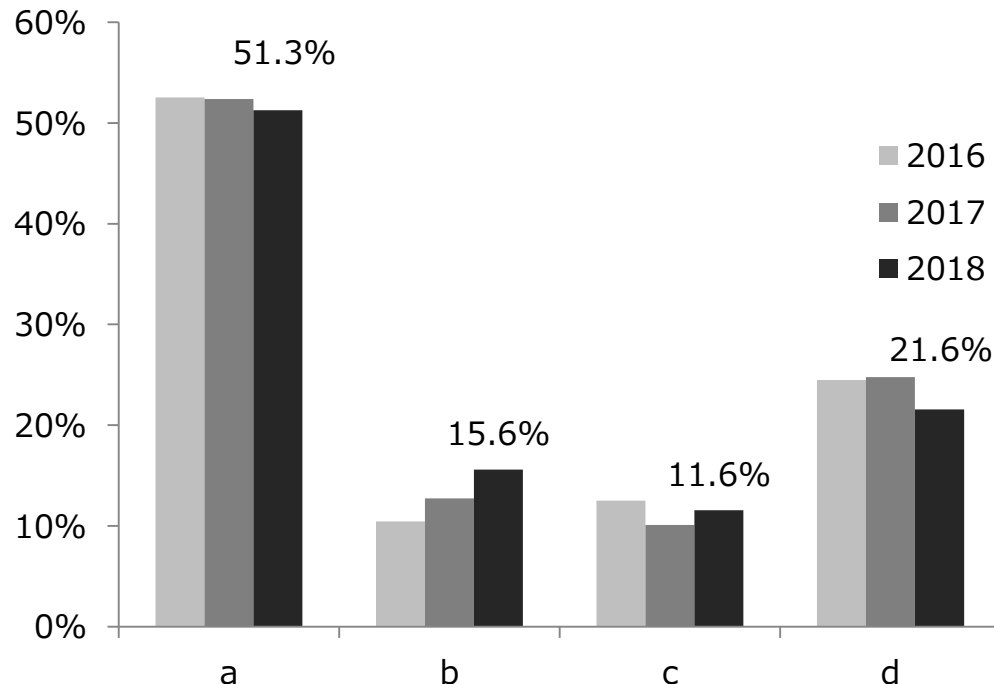
「その他」の回答例：単純に数や比率の観点だけでは判断できないとの認識、質が重要。量では無い。

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(2) ①ROEの目標値を設定・公表していますか。設定している場合は目標値の水準をお答え下さい。
 (1つのみ選択可)

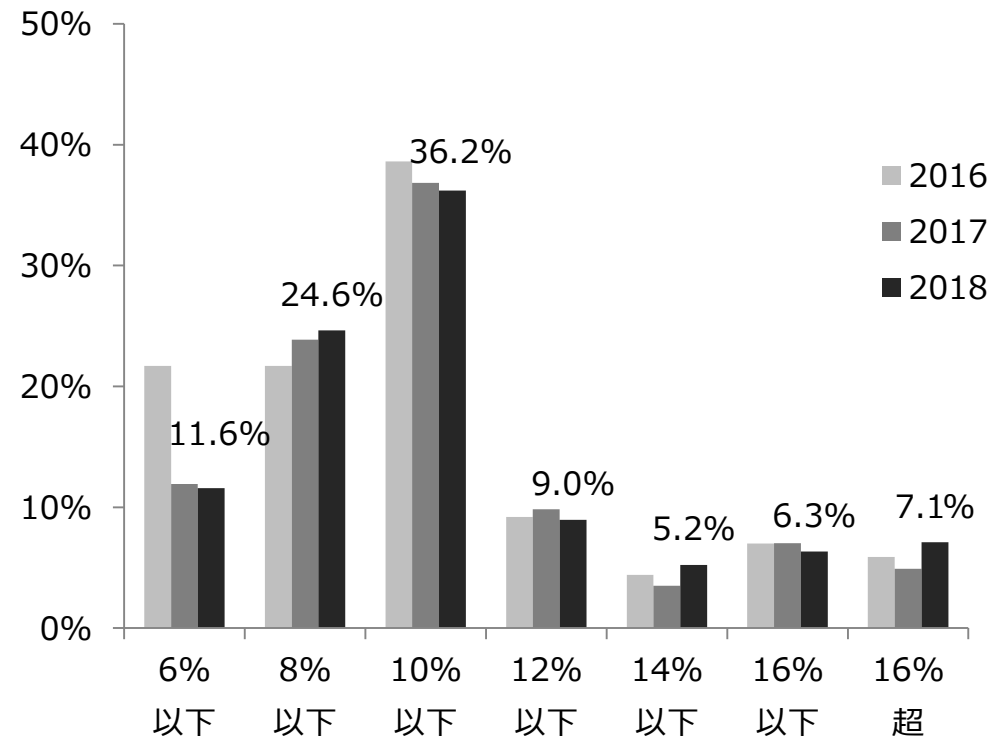
- a. 目標値を設定して、公表している
- b. 目標値は設定しているが、公表していない⇒②へ
- c. 目標値は設定していないが、設定の検討をしている⇒②へ
- d. 目標値は設定しておらず、設定の検討もしていない⇒②へ

【目標値の設定・公表状況】



(回答数:2018年度:519, 2017年度:566, 2016年度:535)

【目標値の水準】

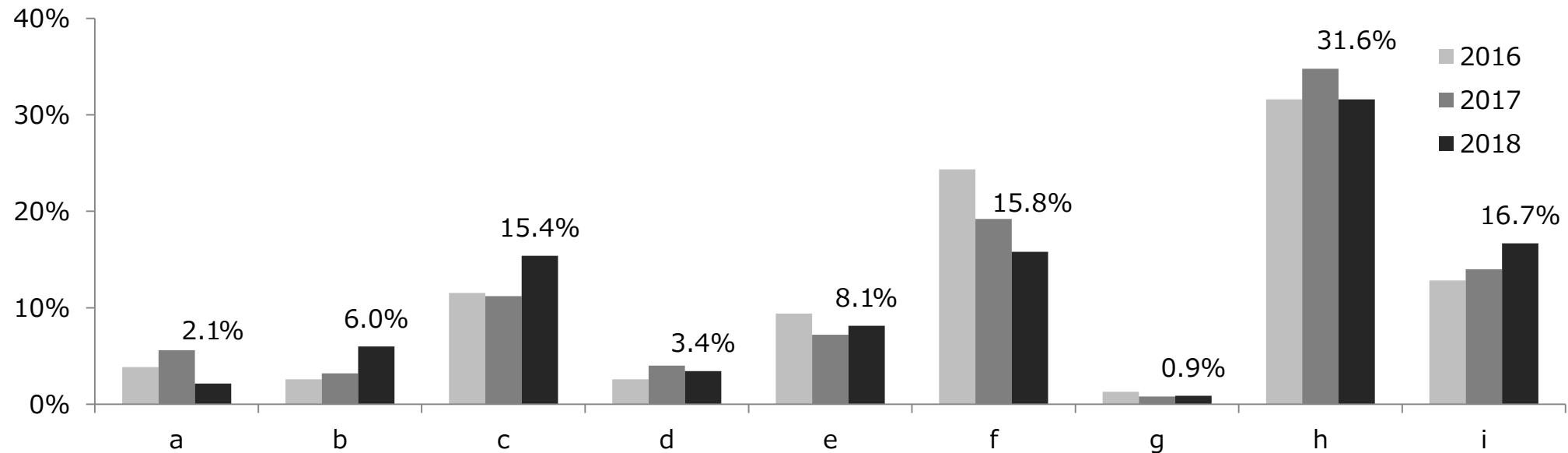


(回答数:2018年度:260, 2017年度:285, 2016年度:272)

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(2) ②ROEの目標値を公表していない、または設定していない場合は、その理由をお答え下さい。(1つのみ選択可)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------|
| a. 重要な指標と考えていない | e. 財務体質の改善を優先している |
| b. 特別損益の影響で振れ幅が大きい | f. 利益の絶対額を重視している |
| c. 今後の事業環境の見通しや会社戦略の確度が低い等の理由で設定が困難 | g. 利益よりもキャッシュフローを重視している |
| d. 現行水準が低く、目標設定意義が薄い | h. ROE以外の指標を設定している |
| | i. その他(具体的には) |



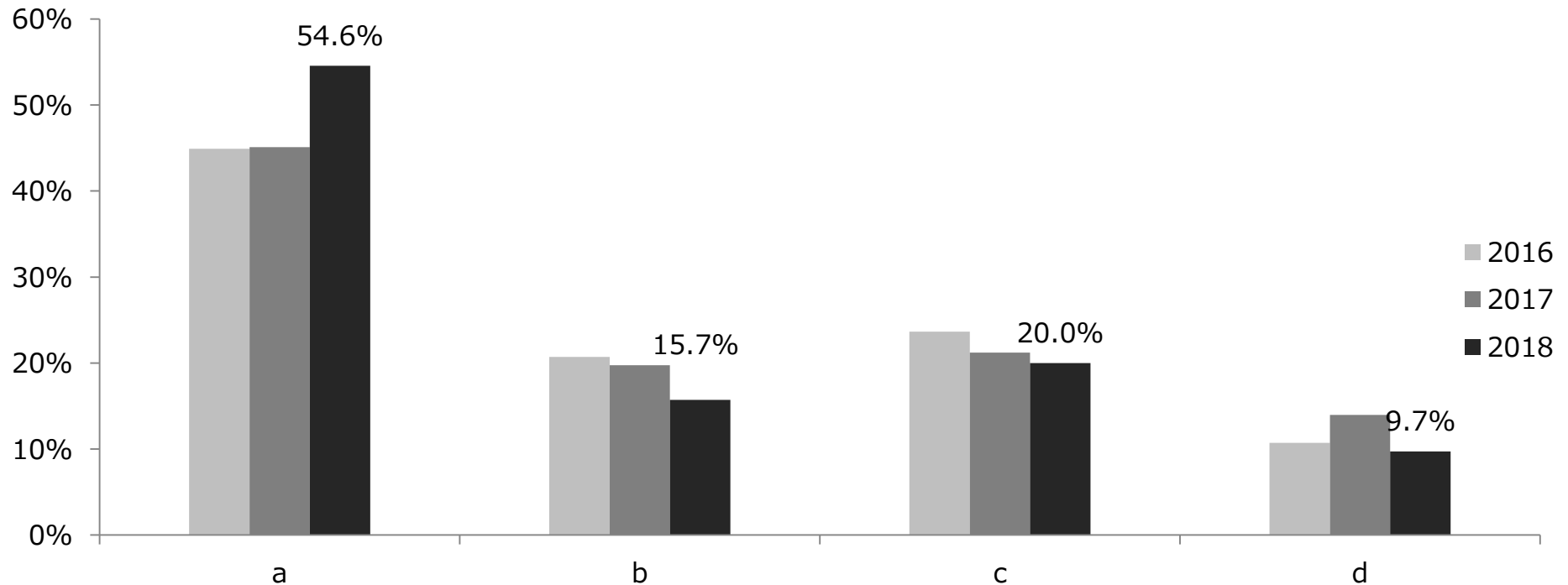
(回答数:2018年度:234, 2017年度:268, 2016年度:234)

「その他」の回答例：売上高、利益の絶対額を重視している。事業の利益の振れ幅が大きい

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(3) 貴社のROE水準は、資本コスト（株主の要求収益率）を上回っていると思われますか。
 (1つのみ選択可)

- a. 上回っている⇒ (4) へ
- b. 同程度⇒ (4) へ
- c. 下回っている⇒ (4) へ
- d. 資本コストを把握していない⇒ (5) へ

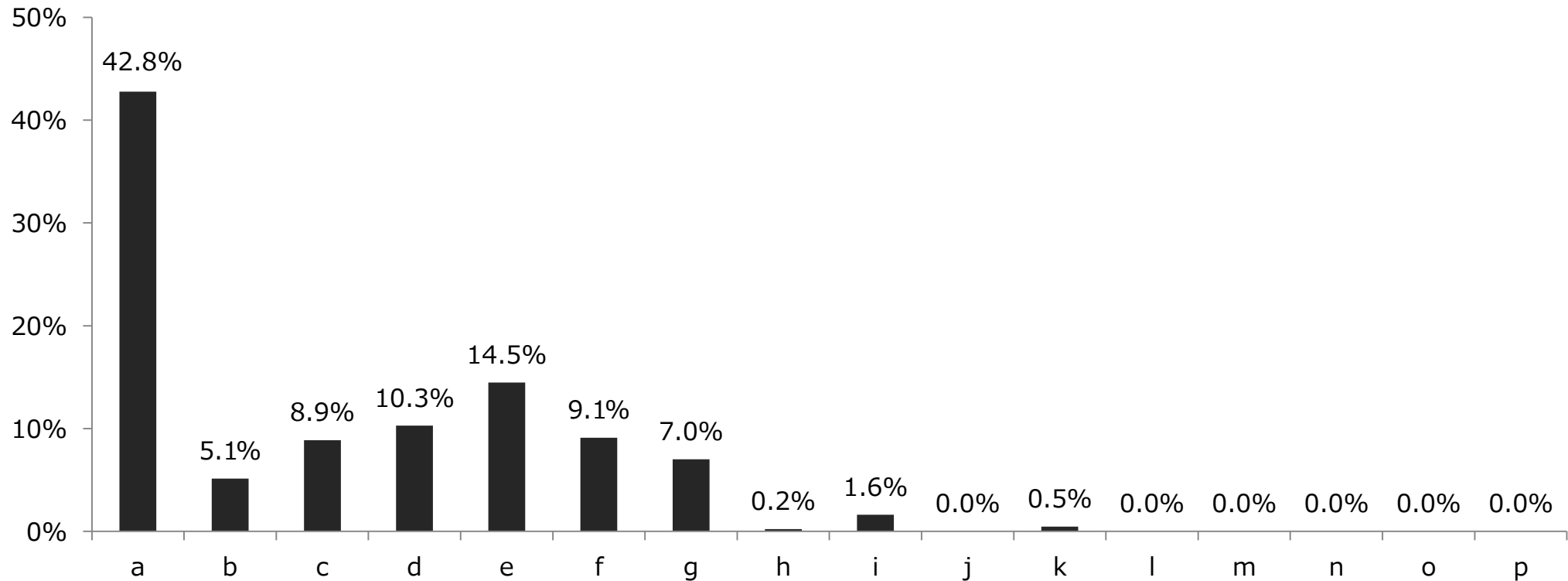


(回答数:2018年度:515, 2017年度:553, 2016年度:541)

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(4) (3) でa・b・cを選択された企業にお伺いします。詳細な資本コスト（株主の要求収益率）の数値を算出していますか。算出している場合は、その結果は何%でしょうか。（1つのみ選択可）

- | | | | |
|-------------------|--------|---------|----------|
| a. 詳細数値までは算出していない | e. 6%台 | i. 10%台 | m. 14%台 |
| b. 4%未満 | f. 7%台 | j. 11%台 | n. 15%台 |
| c. 4%台 | g. 8%台 | k. 12%台 | o. 16%台 |
| d. 5%台 | h. 9%台 | l. 13%台 | p. 17%以上 |

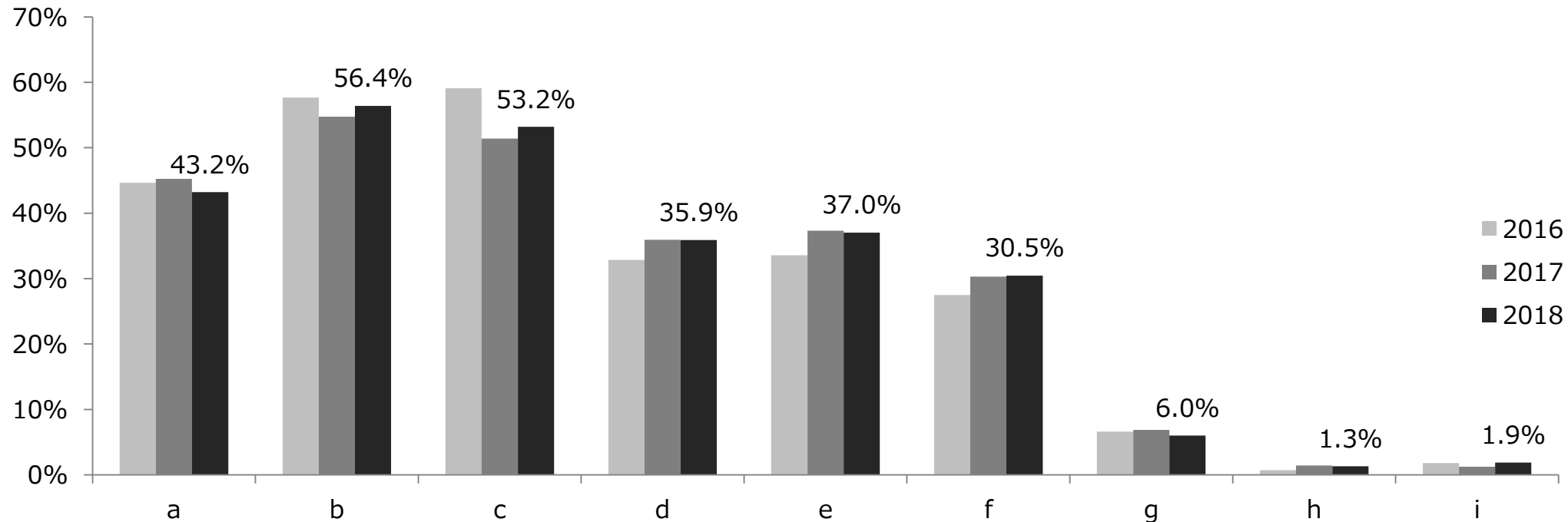


(回答数:2018年度:428)

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(5) 資本効率向上に向けて重点的に実施している取り組みについてお答え下さい。(3つまで選択可)

- | | |
|--|--------------------------------------|
| a. 事業規模・シェアの拡大 | f. 収益・効率性指標を管理指標として展開
(全社レベルでの浸透) |
| b. 製品・サービス競争力強化 | g. 借入や株主還元を通じたレバレッジの拡大 |
| c. コスト削減の推進 | h. 特段なし |
| d. 採算を重視した投資 | i. その他(具体的には) |
| e. 事業の選択と集中(経営ビジョンに則した
事業ポートフォリオの見直し・組換え) | |



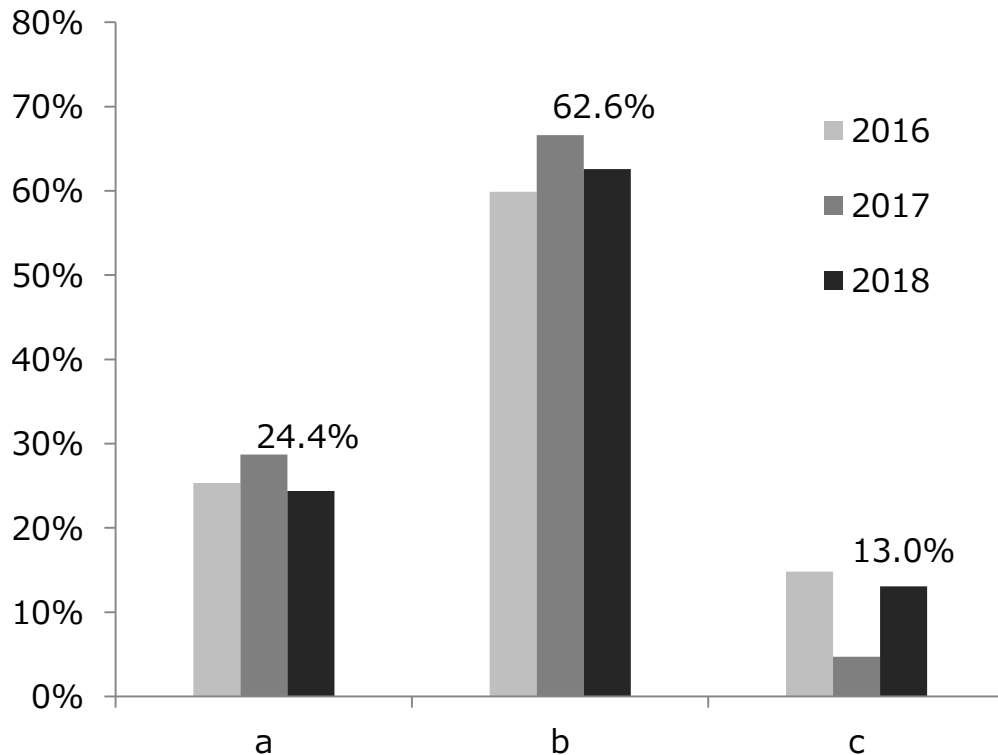
(回答数:2018年度:532, 2017年度:568, 2016年度:560)

Q3. 内部留保・手元資金・投資についてお伺いします。

(1) 現在の貴社の①自己資本、②手元資金の水準について、どのような認識をお持ちですか。
 (1つのみ選択可)

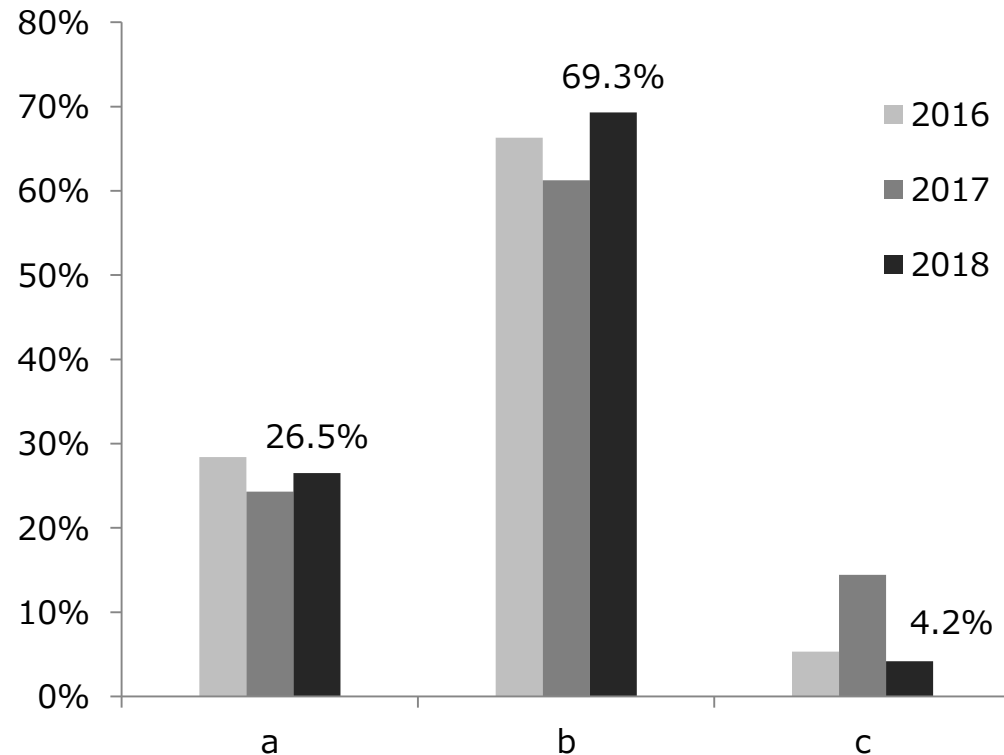
- a. 余裕のある水準と考えている
- b. 適正と考えている
- c. 不足している

【自己資本】



(回答数:2018年度:529, 2017年度:568, 2016年度:561)

【手元資金】

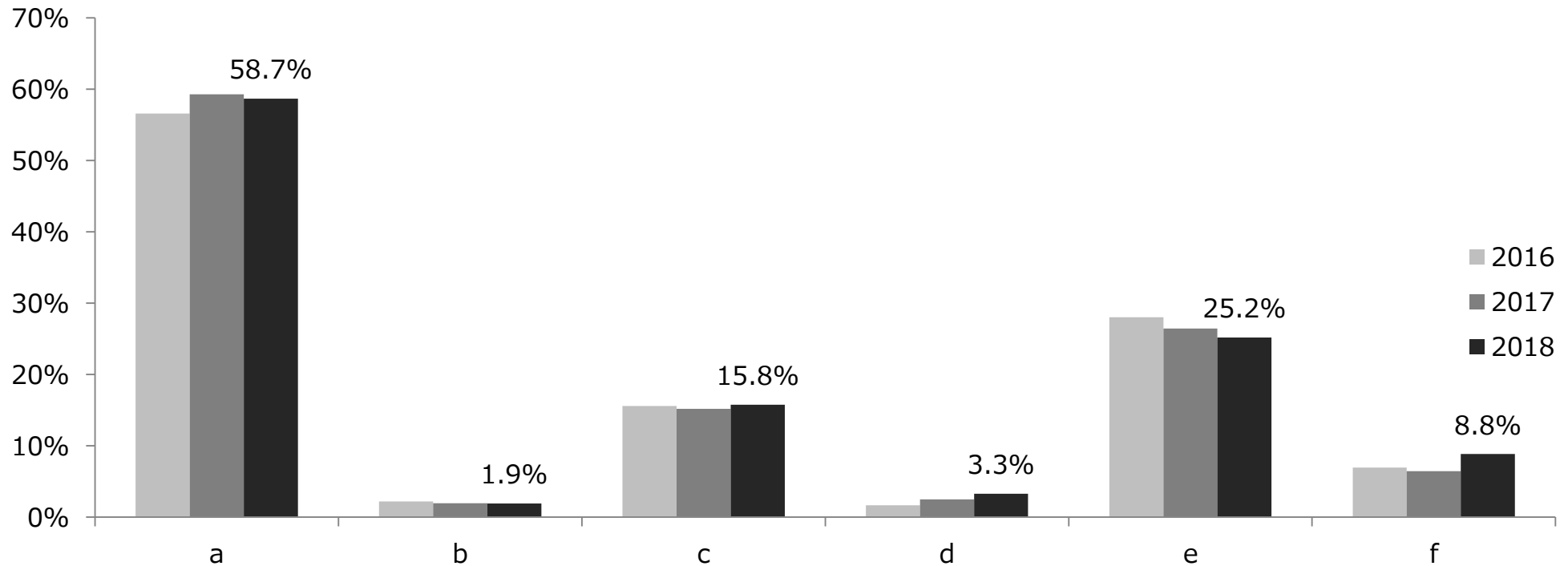


(回答数:2018年度:528, 2017年度:554, 2016年度:546)

Q3. 内部留保・手元資金・投資についてお伺いします。

(2) 手元資金の適切な水準について、どのように決定しているかお答え下さい。(複数選択可)

- a. 売上高や利益、運転資金、キャッシュフロー等
に対して一定の比率を目安としている
- b. 同業他社をベンチマークとしている
- c. 目標とする格付・信用力を得るための水準を
維持している
- d. 極力増やすことを目標としている
- e. 具体的な基準があるわけではない
- f. その他（具体的には ）

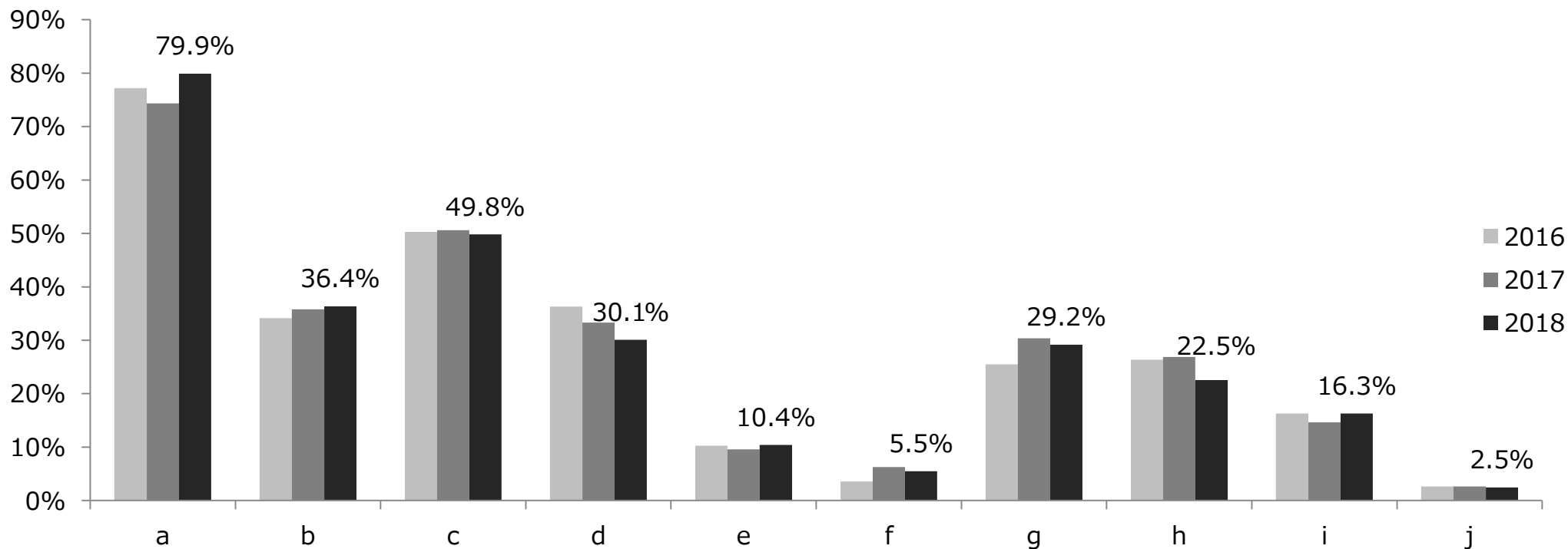


(回答数:2018年度:520, 2017年度:560, 2016年度:546)

Q3. 内部留保・手元資金・投資についてお伺いします。

(3) 投資を実行する際に重視している項目をお答え下さい。(3つまで選択可)

- | | |
|------------------|--------------|
| a. 経営戦略との整合性 | f. 事業の多角化 |
| b. シナジー効果 | g. 将来の市場見通し |
| c. 製品・サービスの競争力強化 | h. 投資リスク |
| d. 事業規模・シェア拡大 | i. 財務への影響 |
| e. コスト削減につながるか | j. その他（具体的には |

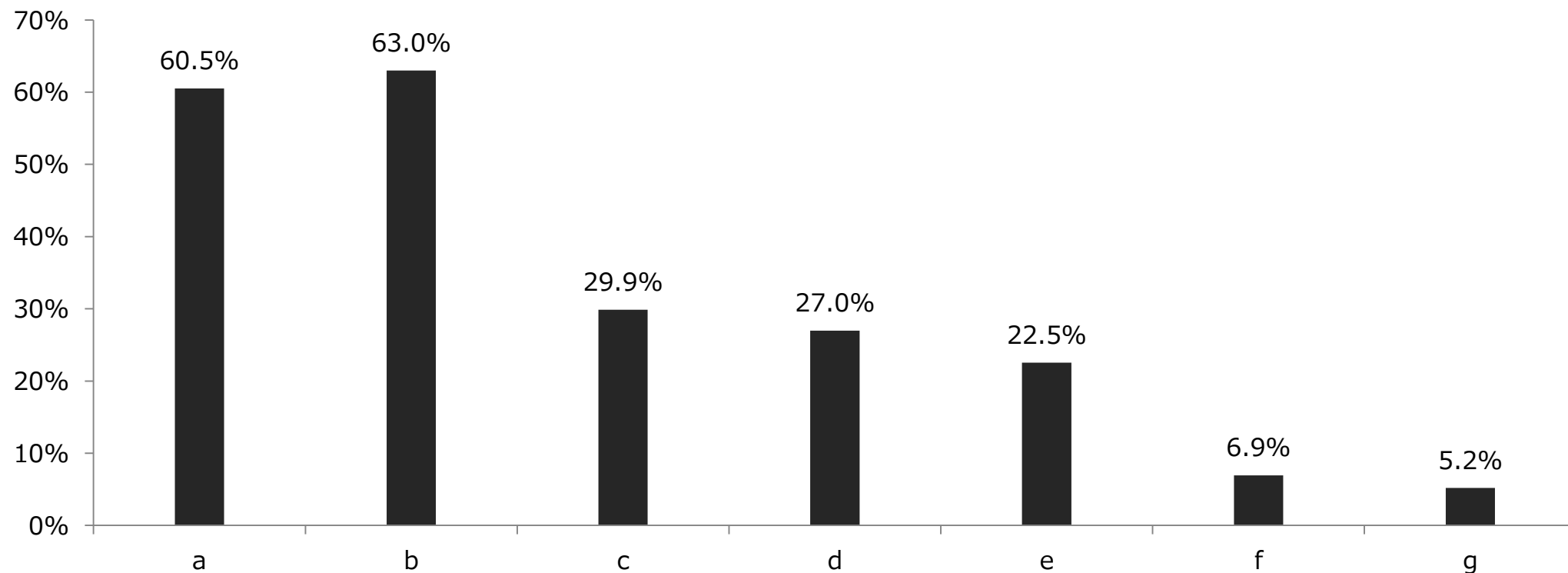


(回答数:2018年度:528, 2017年度:573, 2016年度:565)

Q3. 内部留保・手元資金・投資についてお伺いします。

(4) 投資の意思決定の判断基準として重視されている指標をお答え下さい。(3つまで選択可)

- a. 売上・利益の増加額
- b. 事業投資資金の回収期間
- c. 投下資本利益率 (ROIC)
- d. 内部収益率 (IRR)
- e. 正味現在価値 (NPV)
- f. 判断基準は特に設定していない
- g. その他 (具体的には)

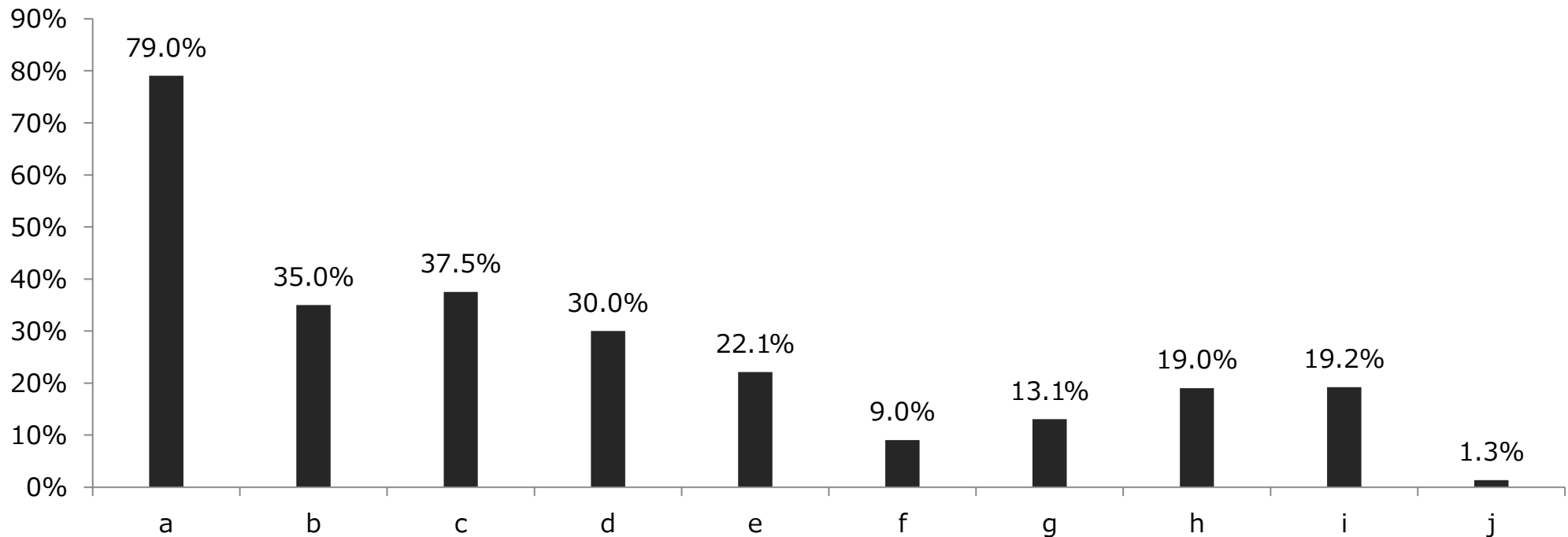


(回答数:2018年度:519)

Q3. 内部留保・手元資金・投資についてお伺いします。

(5) 投資を実施する際に、貴社が投資家への説明にあたり重視している内容をお答え下さい。
 (3つまで選択可)

- | | |
|------------------|-----------------------------------|
| a. 経営計画における位置づけ | f. 投資のリスク |
| b. シナジー効果 | g. 投資の収益化の時期 |
| c. 競争力に与える影響 | h. 投資の収益貢献額 |
| d. 投資の前提となる市場見通し | i. 投資の採算性 |
| e. 財務への影響 | j. その他（具体的には ） |

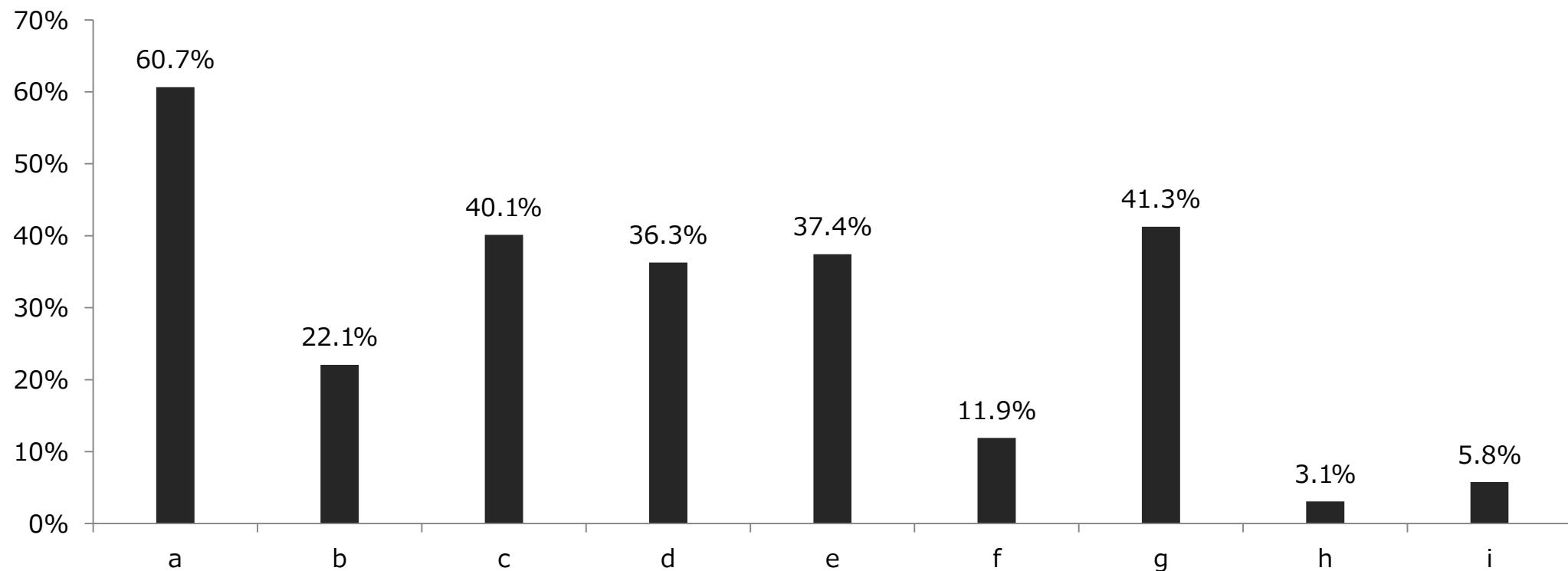


(回答数:2018年度:520)

Q3. 内部留保・手元資金・投資についてお伺いします。

(6) 自社の中長期的な投資・財務戦略において、重視しているものをお答え下さい。(3つまで選択可)

- | | |
|-----------|----------------|
| a. 設備投資 | f. 有利子負債の返済 |
| b. IT投資 | g. 株主還元 |
| c. 研究開発投資 | h. 特に決まっていない |
| d. 人材投資 | i. その他(具体的には) |
| e. M&A | |



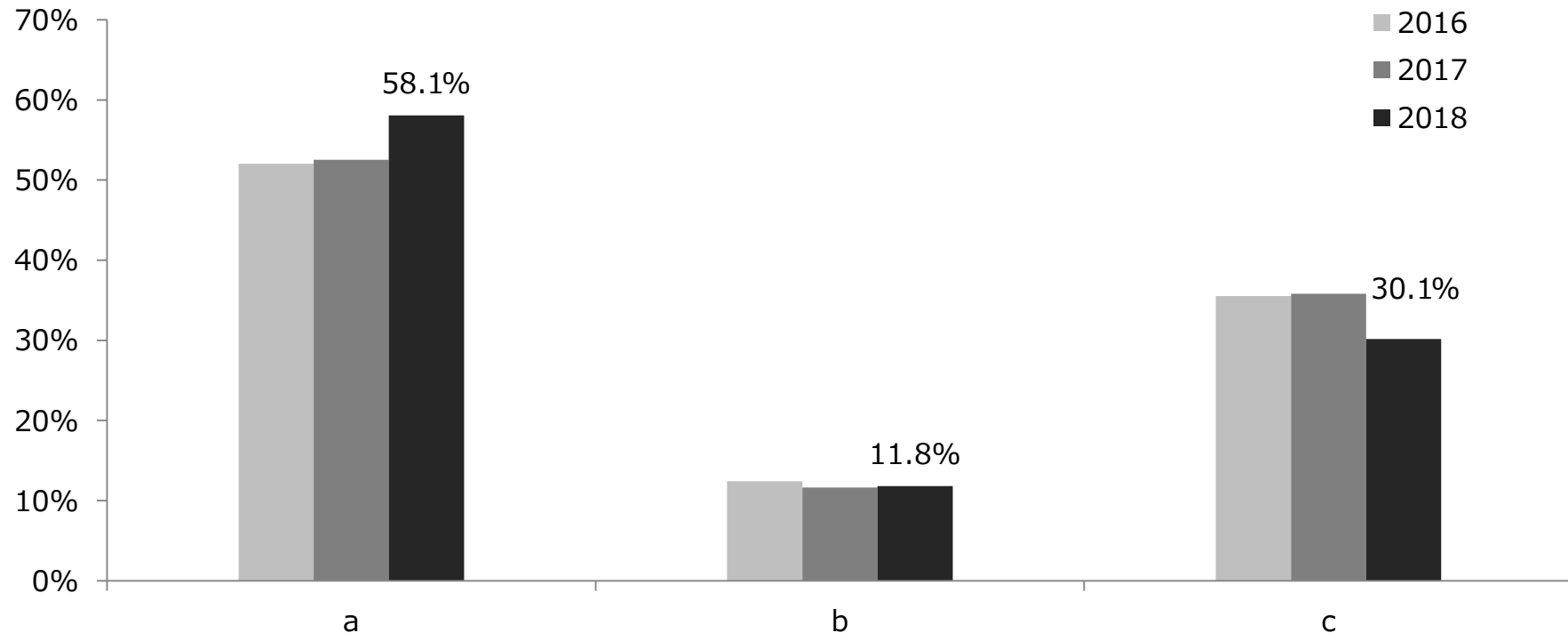
(回答数:2018年度:521)

「その他」の回答例：広告宣伝投資、新規事業投資

Q4. 株主還元についてお伺いします。

(1) 株主還元に関して、配当性向、株主資本配当率（DOE）、総還元性向等の目標値を設定・公表していますか。（1つのみ選択可）

- a. 目標値を設定して、公表している
- b. 目標値は設定しているが、公表していない⇒（2）へ
- c. 目標値を設定していない⇒（2）へ

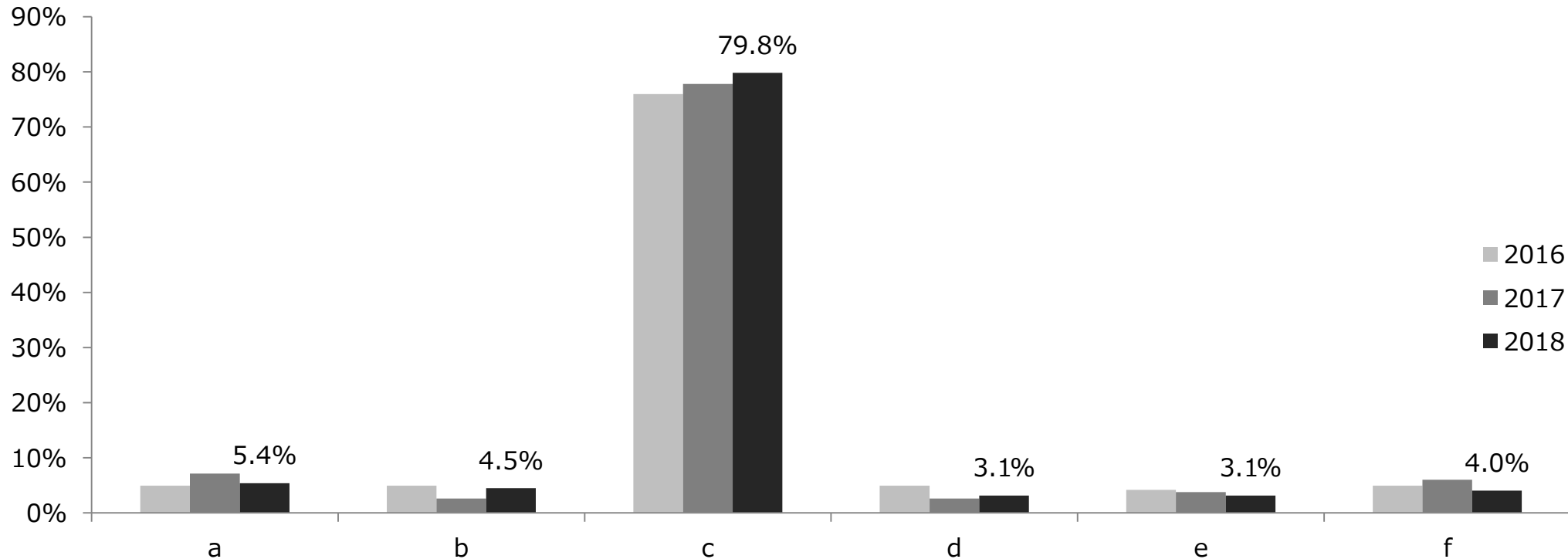


(回答数:2018年度:534, 2017年度:575, 2016年度:563)

Q4. 株主還元についてお伺いします。

(2) (1) でb又はcを選択された企業にお伺いします。株主還元の数値目標を公表されていない、または設定されていない理由をお答え下さい。(1つのみ選択可)

- a. 配当政策に制約が生じる
- b. 当期利益の振れ幅が大きく、設定・公表が困難
- c. 安定配当を方針としている
- d. 財務体質の改善を優先している
- e. 投資資金の確保を優先している
- f. その他（具体的には _____)

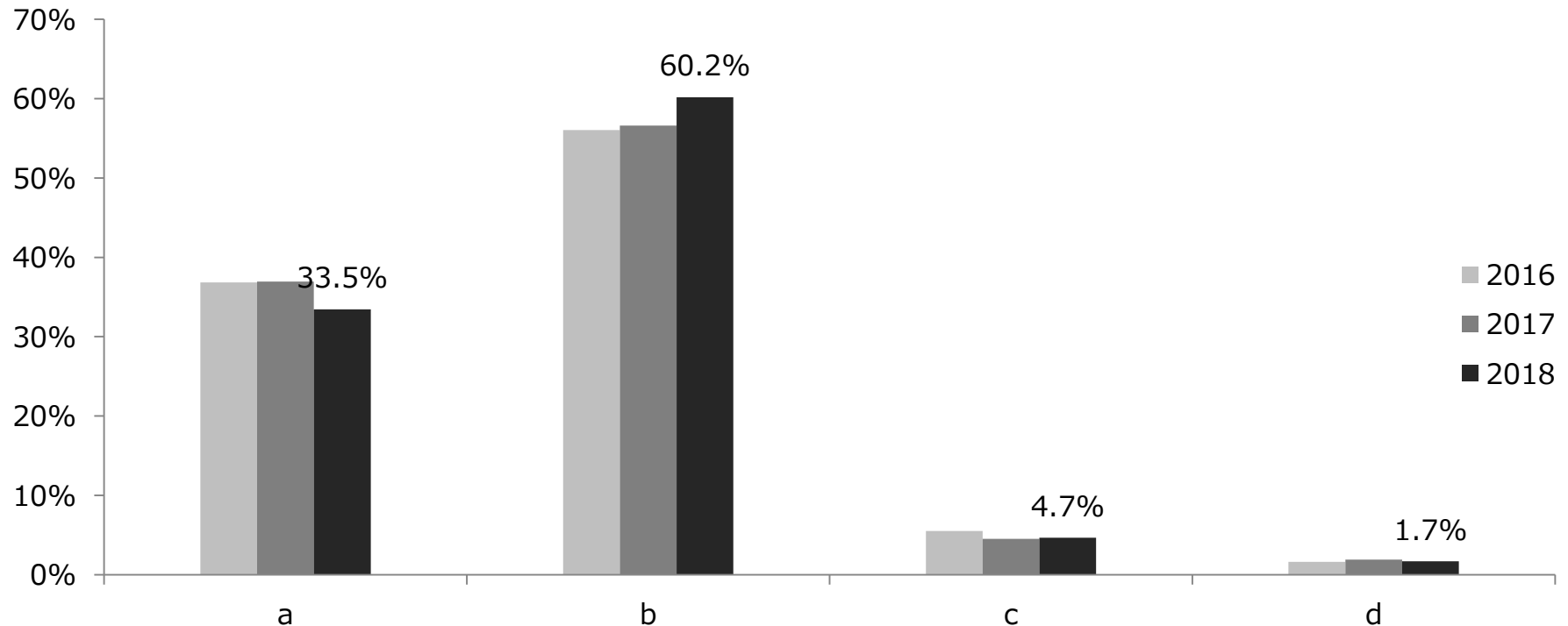


(回答数:2018年度:223, 2017年度:271, 2016年度:262)

Q4. 株主還元についてお伺いします。

(3) 株主還元・配当政策に関して、資本効率や内部留保・投資の必要性の観点から投資家に対して説明を行っていますか。(1つのみ選択可)

- a. 十分行っている
- b. 一定程度行っている
- c. あまり行っていない
- d. ほとんど行っていない

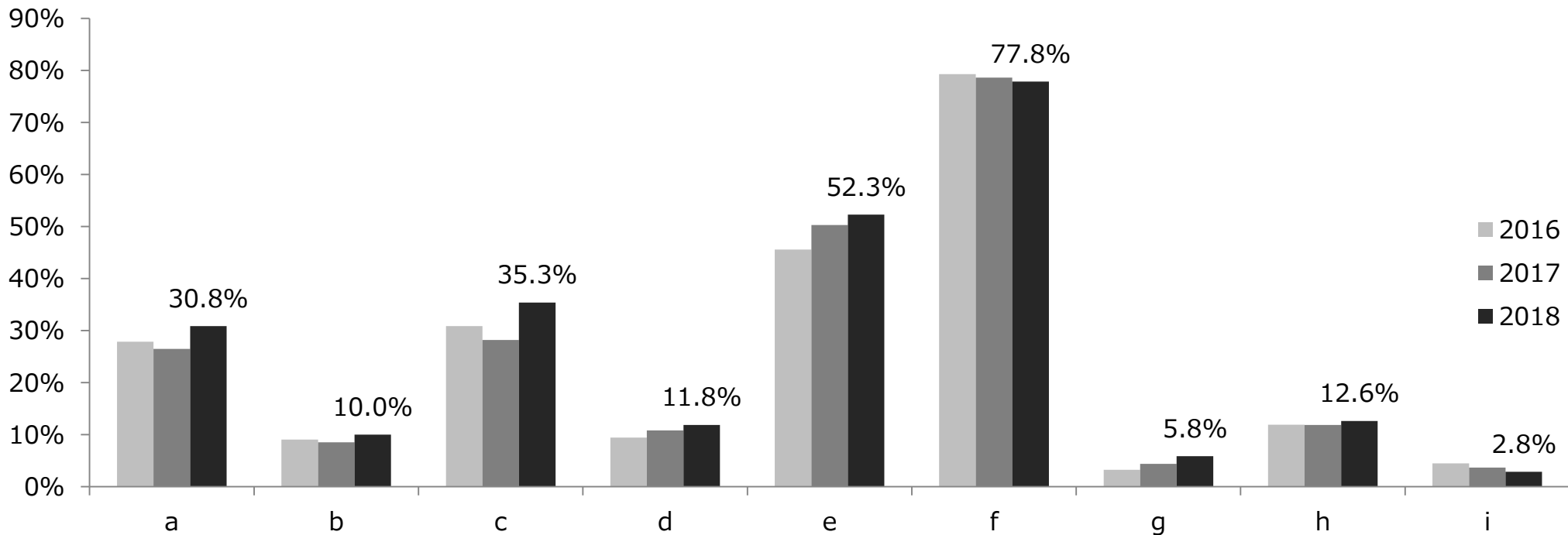


(回答数:2018年度:535, 2017年度:574, 2016年度:562)

Q4. 株主還元についてお伺いします。

(4) 株主還元・配当政策についてどのような観点から投資家に説明しているかお答え下さい。
 (複数選択可)

- | | |
|-------------------|----------------|
| a. 投資機会の有無 | f. 株主還元・配当の安定性 |
| b. 余剰資金を抱えているかどうか | g. 株価推移 |
| c. 事業の成長ステージ | h. ROEの水準 |
| d. 資本構成 | i. その他（具体的には |
| e. 総還元性向・配当性向の水準 |) |

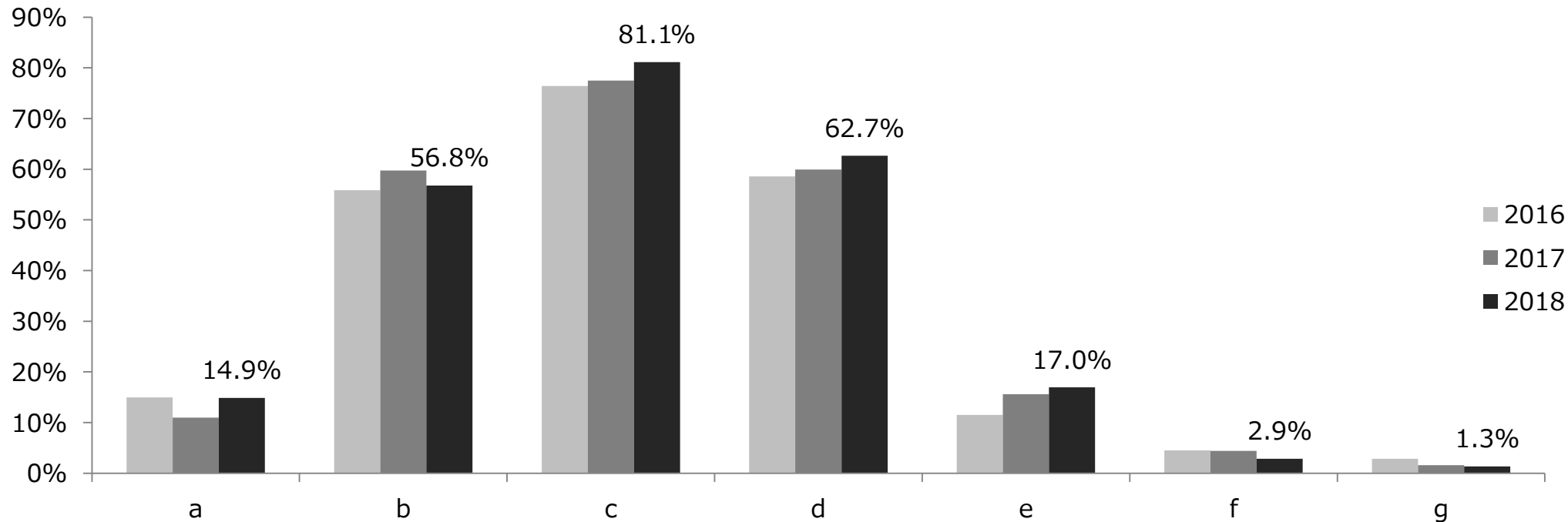


(回答数:2018年度:532, 2017年度:575, 2016年度:564)

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

(1) コーポレートガバナンス・コードの策定を踏まえ、投資家と接する際に従来と比べて重点的に取り組んでいることは何ですか。(3つまで選択可)

- a. 投資スタイル・投資哲学の把握
- b. 対話機会の増加
- c. 対話内容の充実
- d. 対話内容の経営層へのフィードバック
- e. 株主総会議案に関する対話の実施
- f. 株主総会の出席株主数増加に向けた取り組み
- g. その他（具体的には ）



(回答数:2018年度:525, 2017年度:564, 2016年度:555)

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

(2) 投資家との対話（以下の①～③）の実施頻度は年間どの程度ありますか。
 対話の実施者別にお答え下さい。（複数人出席の場合は役職上位者の実施回数にカウント）

① 説明会（ラージミーティングを含む）

② スモールミーティング

③ 個別対話（電話・書面を含む）

<経営トップ（社長・会長等）> ① 回 ② 回 ③ 回

<取締役（社外取締役を除く）・執行役員> ① 回 ② 回 ③ 回

<社外取締役> ① 回 ② 回 ③ 回

<IR担当者> ① 回 ② 回 ③ 回

	a. 経営者 (社長・会長)			b. 取締役・執行役員			c. 社外取締役			d. IR担当者			合計		
	2018	2017	2016	2018	2017	2016	2018	2017	2016	2018	2017	2016	2018	2017	2016
①説明会	2.0	2.6	2.4	1.4	2.3	2.0	0.0	0.0	-	1.1	2.5	1.7	4.6	7.4	6.5
②スモール	1.2	2.0	1.6	2.4	3.9	3.3	0.0	0.1	-	4.6	5.5	5.3	8.3	11.4	10.7
③個別対話	9.9	14.1	11.5	23.9	35.0	28.5	0.0	0.6	-	116.9	132.0	134.1	150.7	181.8	175.6
合計	13.1	18.6	15.4	27.8	41.2	33.8	0.1	0.8	-	122.6	140.0	141.0	163.7	200.6	192.8

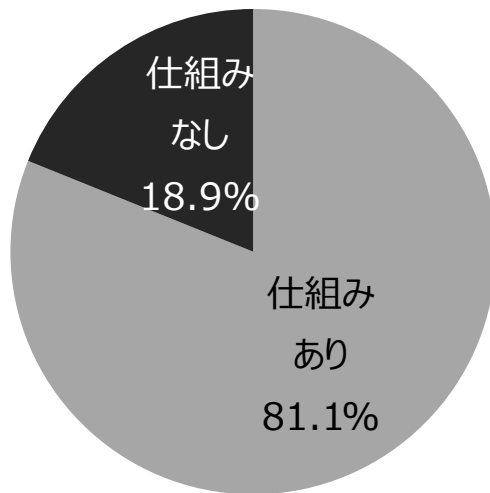
※但し、2016年度の合計はa+b+d+事業部門の担当者の対話を合計したものの
 (回答数: 2018年度:524, 2017年度:544, 2016年度:539)

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

(3) ①対話内容を経営層で共有化する仕組みがありますか。(1つのみ選択可)

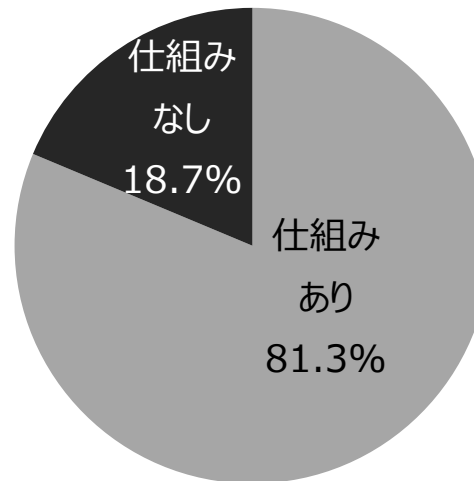
- a. 対話内容を経営層で共有化する仕組みがある⇒②へ
- b. 対話内容を経営層で共有化する仕組みはない⇒(4)へ

2018年度



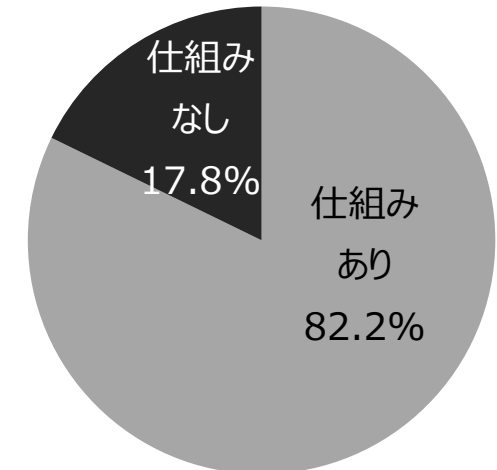
(回答数:2018年度:524)

2017年度



(回答数:2017年度:572)

2016年度

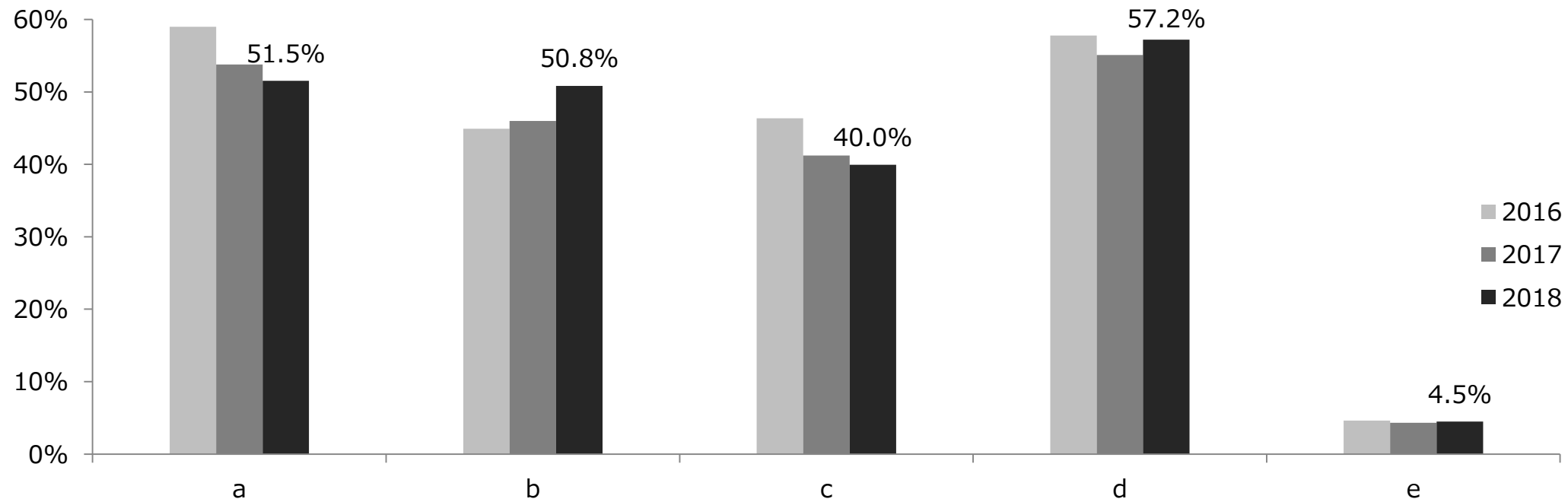


(回答数:2016年度:540)

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

(3) ② (対話内容を) 共有化する仕組みがある場合は、どのような体制を整備しているか お答え下さい。
 (複数選択可)

- a. 定期的に経営陣が投資家と対話を行い、経営陣内で共有化している
- b. 取締役会や経営会議でIR担当者が報告する機会を設けている
- c. 経営トップに直接定期的に報告する機会を設けている
- d. レポート形式にして定期的に経営陣へ送付している
- e. その他 (具体的には)

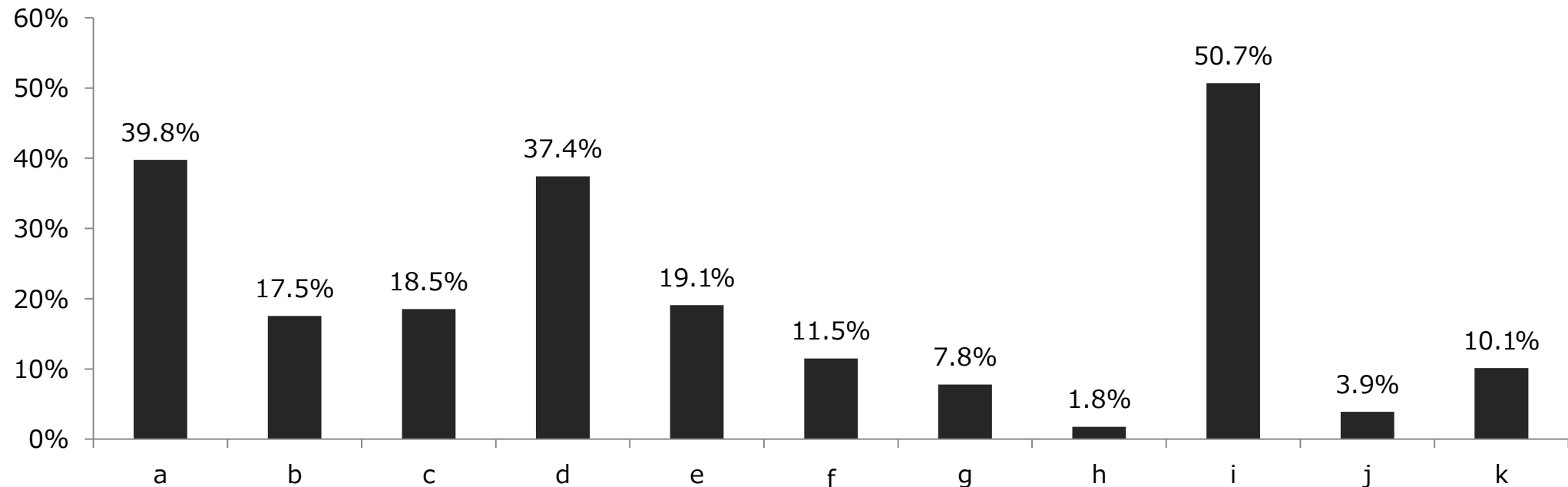


(回答数:2018年度:423, 2017年度:469,2016年度:412)

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

(4) 機関投資家との対話内容を踏まえ、何らかのアクションを取った論点、もしくは自社の改善政策の参考にした論点をお答え下さい。(複数選択可)

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| a. 経営戦略・事業戦略 | g. 買収防衛策 |
| b. 収益性 | h. 不祥事等の対応 |
| c. 財務戦略 | i. 情報開示 |
| d. 株主還元 | j. その他（具体的には |
| e. E（環境）・S（社会）関係 | k. アクションを起こしていない |
| f. 社外取締役関係（社外取締役の人数、社外役員の独立性／出席率等） | |

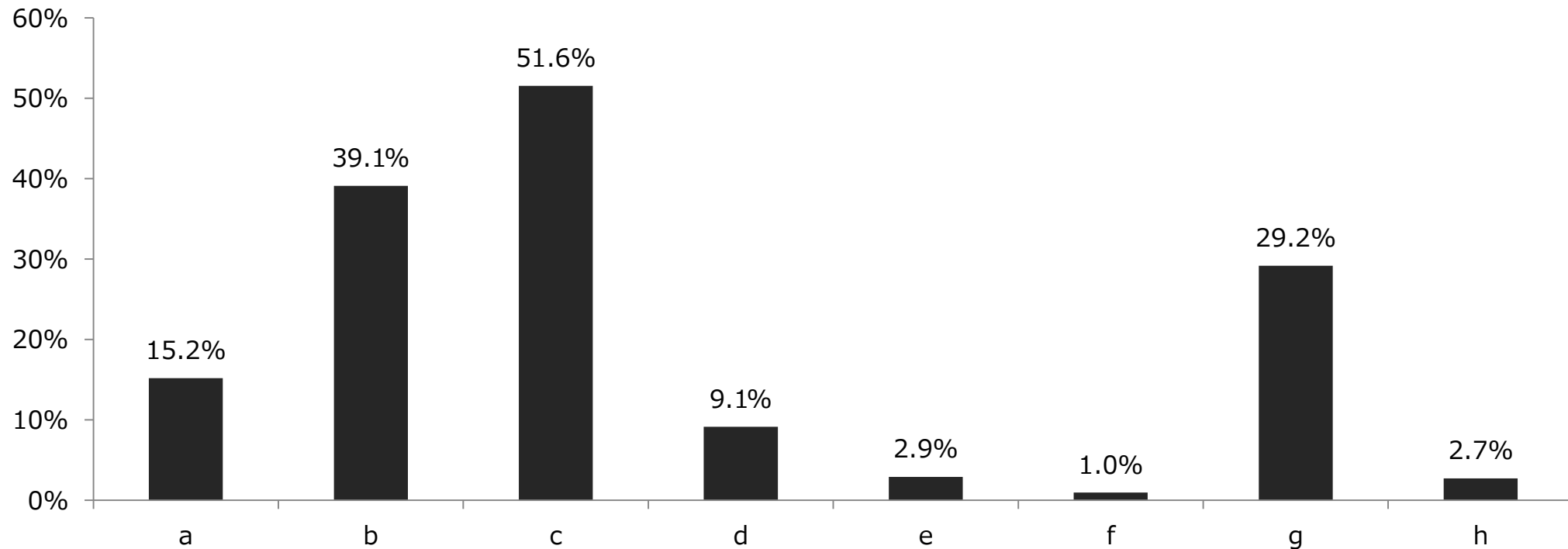


(回答数:2018年度:513)

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

(5) 対話において投資家に対して感じる課題についてお答え下さい。(3つまで選択可)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| a. 企業側に対する一方的な提案や要求 | e. 他のステークホルダーを軽視するような提案 |
| b. 企業に対する分析や理解が浅い | f. 対話に応じない |
| c. 短期的なテーマのみに基づく対話の実施 | g. 特段なし |
| d. 実績作りのための形式的な対話が多い | h. その他（具体的には) |



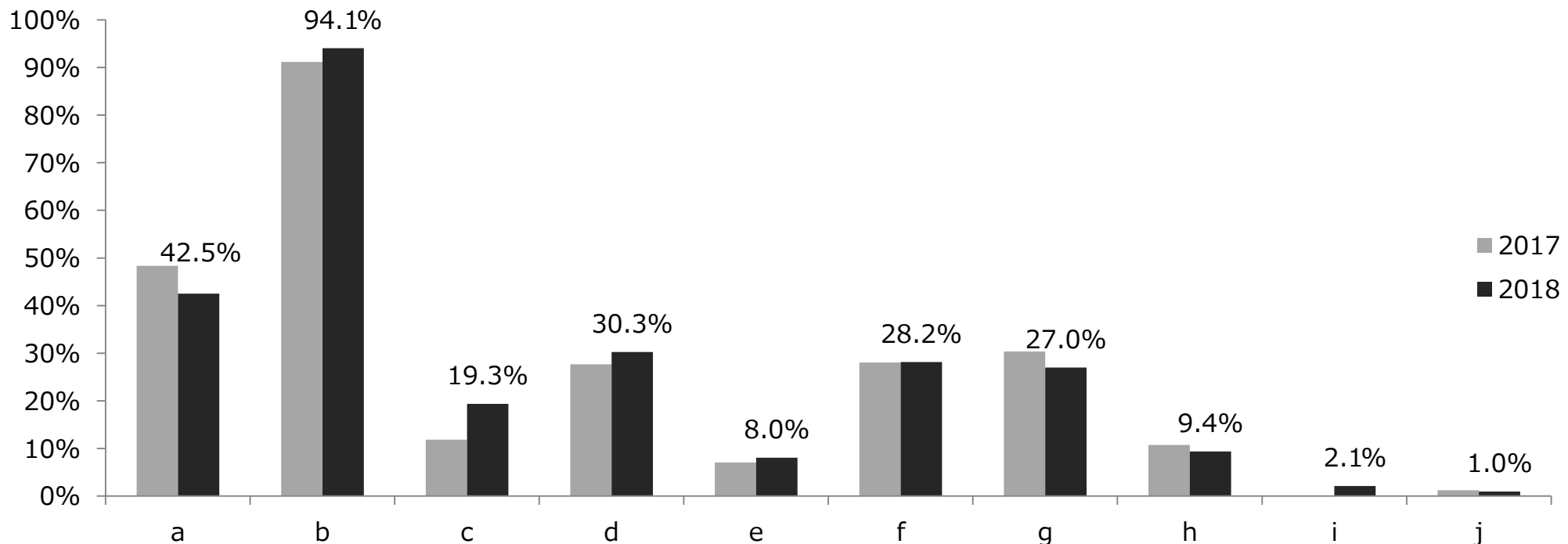
(回答数:2018年度:514)

「その他」の回答例：長期目線で経営に資する対話の割合がまだまだ少ない。対話に継続性がない（単発）

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

(6) 投資家との深度ある「建設的な対話」を行うため、重要だと考えるテーマをお答え下さい。
 (3つまで選択可)

- | | |
|------------------|--------------|
| a. 経営理念・ビジョン | f. 財務戦略 |
| b. 経営戦略・ビジネスモデル | g. 株主還元 |
| c. 環境・社会課題への取り組み | h. IR戦略 |
| d. コーポレート・ガバナンス | i. 政策保有株式 |
| e. リスクマネジメント | j. その他（具体的には |

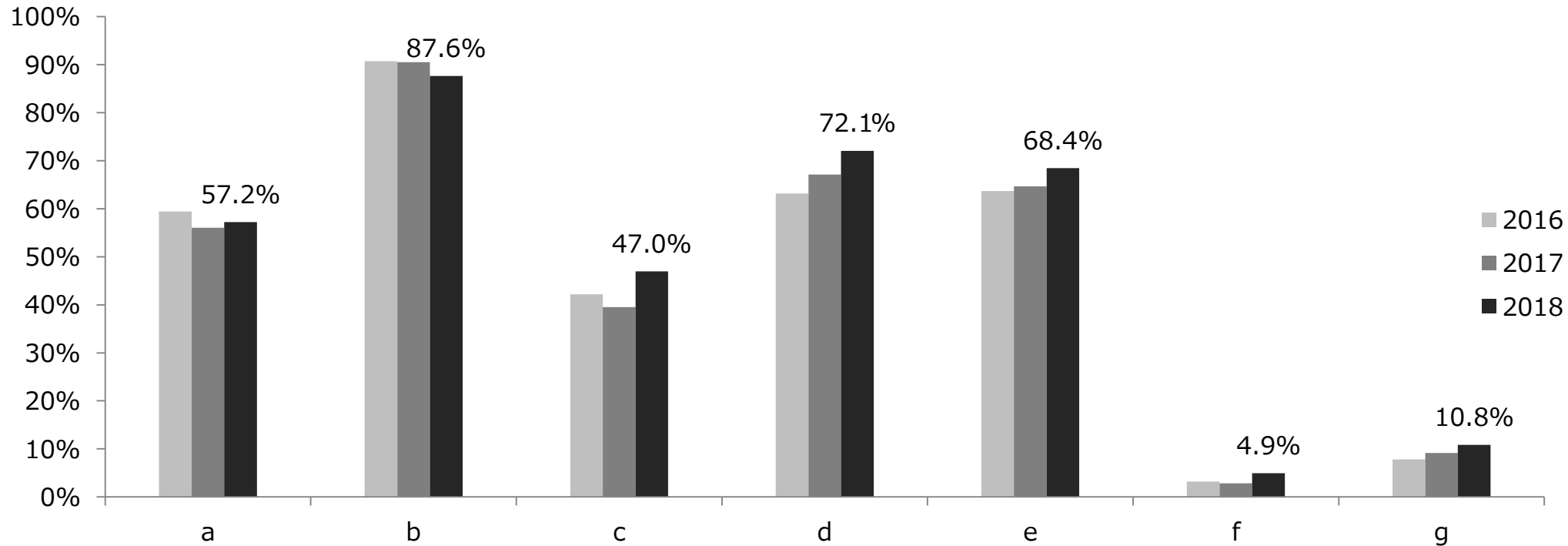


(回答数:2018年度:522, 2017年度:567)

Q6. 株主総会についてお伺いします。

(1) 株主の議決権行使を充実させるために、どのようなことに取り組んでいますか（今後の予定も含む）。
 （複数選択可）

- a. 集中日を回避した株主総会の開催
- b. 招集通知の早期発送（早期開示）
- c. 議案の説明充実
- d. インターネットによる議決権投票
- e. 議決権電子行使プラットフォームへの参加
- f. 有価証券報告書の早期開示
- g. その他（具体的には ）

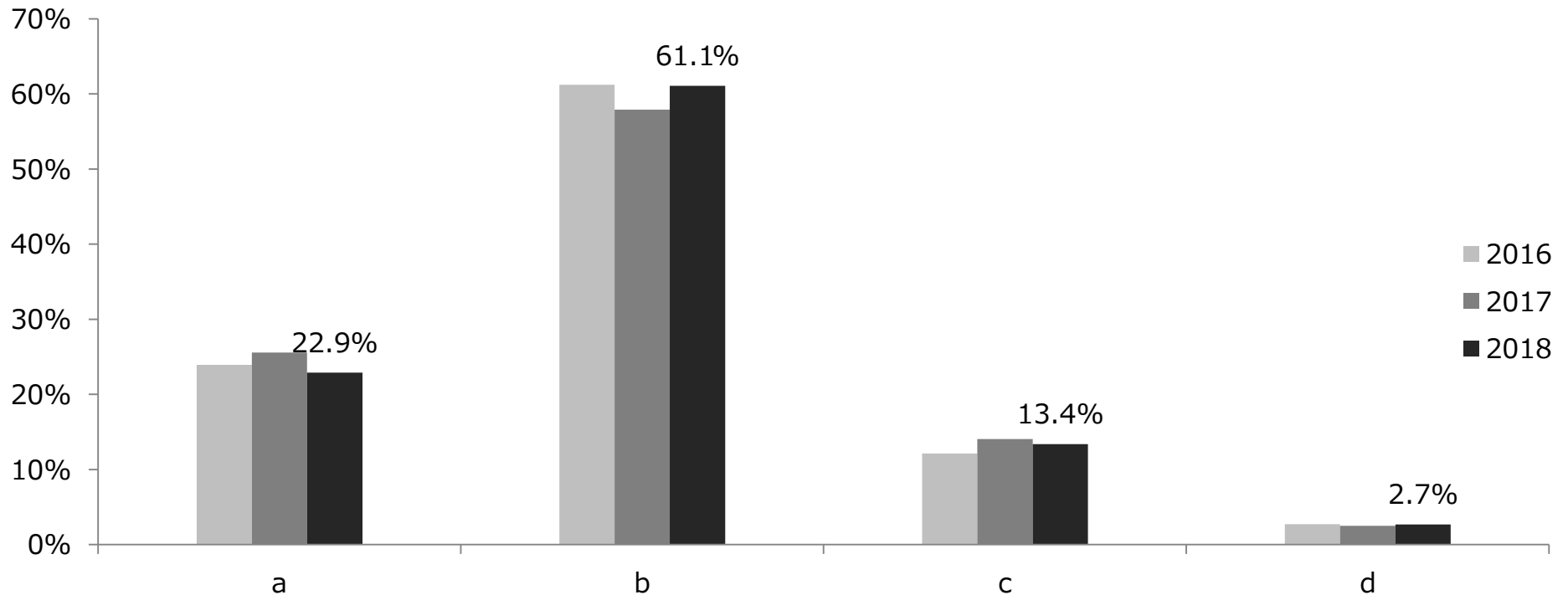


(回答数:2018年度:526, 2017年度:569,2016年度:562)

Q6. 株主総会についてお伺いします。

(2) ①投資家に対し、個別議案の説明を十分に行っていますか。(1つのみ選択可)

- a. 十分に説明している
- b. 一定程度説明している
- c. あまり十分とは言えない
- d. 説明は不十分

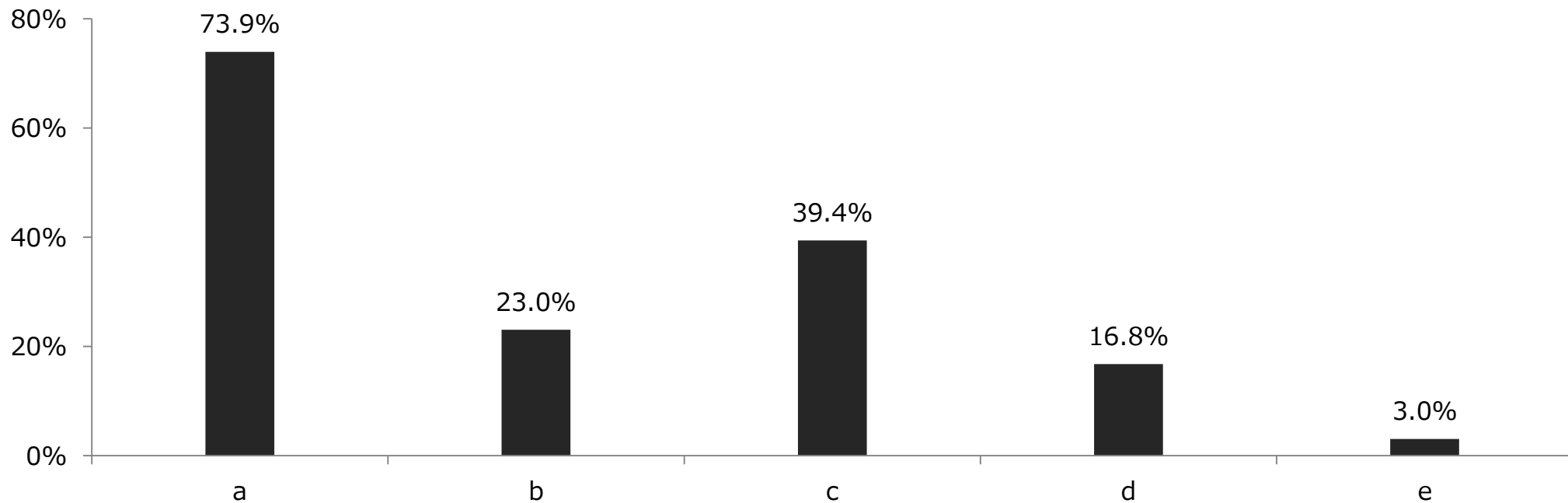


(回答数:2018年度:524, 2017年度:563,2016年度:552)

Q6. 株主総会についてお伺いします。

(2) ②投資家に対し、議案の説明充実に向けて、重点的に取り組まれているものをお答え下さい。
 (3つまで選択可)

- a. 招集通知の議案内容の説明充実
- b. 総会前の議案の事前説明の実施・充実
- c. 対話を通じた継続的なスタンスの説明
- d. ホームページ等を活用した議案の説明
- e. その他（具体的には)

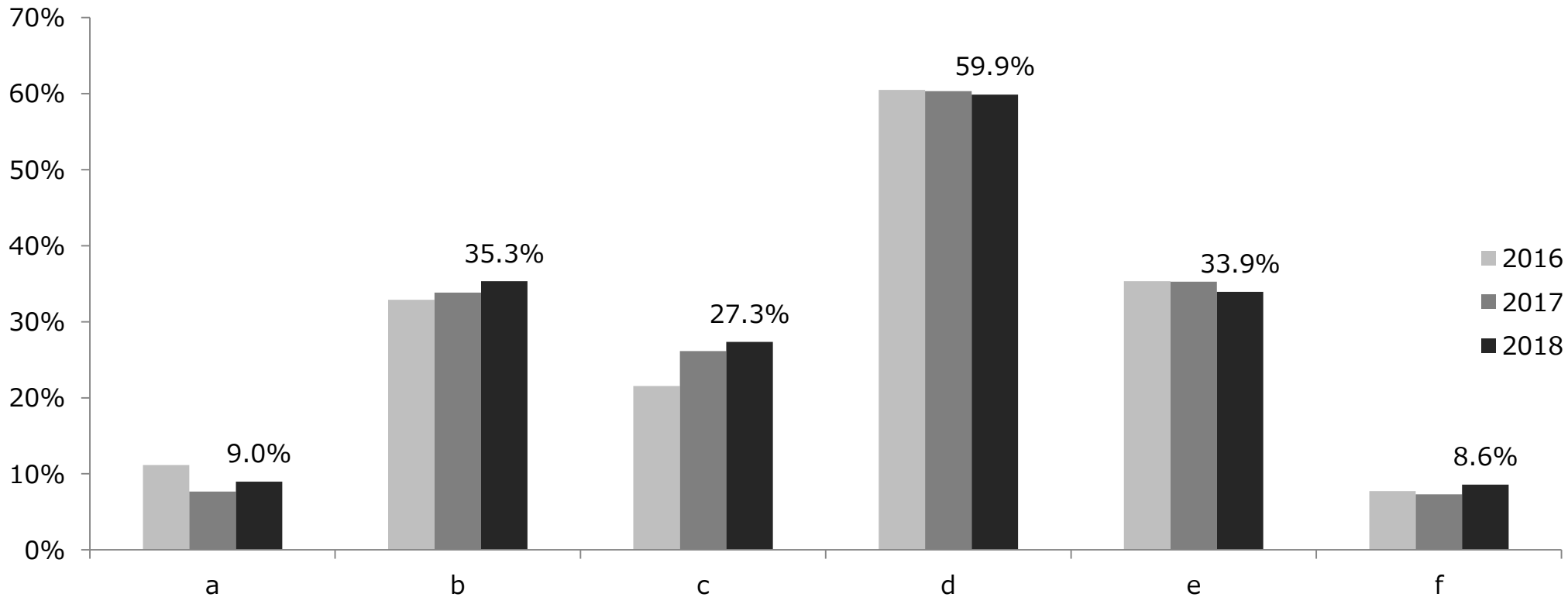


(回答数:2018年度:495)

Q6. 株主総会についてお伺いします。

(3) 投資家の議決権行使に関して、課題であると感じることは何ですか。(3つまで選択可)

- a. 議決権を行使しない投資家が多い
- b. 実質株主がわからない
- c. 議案内容等について、投資家と十分な対話ができない
- d. 議決権行使助言会社の判断に影響を受けやすい
- e. 議案に対する株主の賛否判断の理由が分からない
- f. その他（具体的には ）

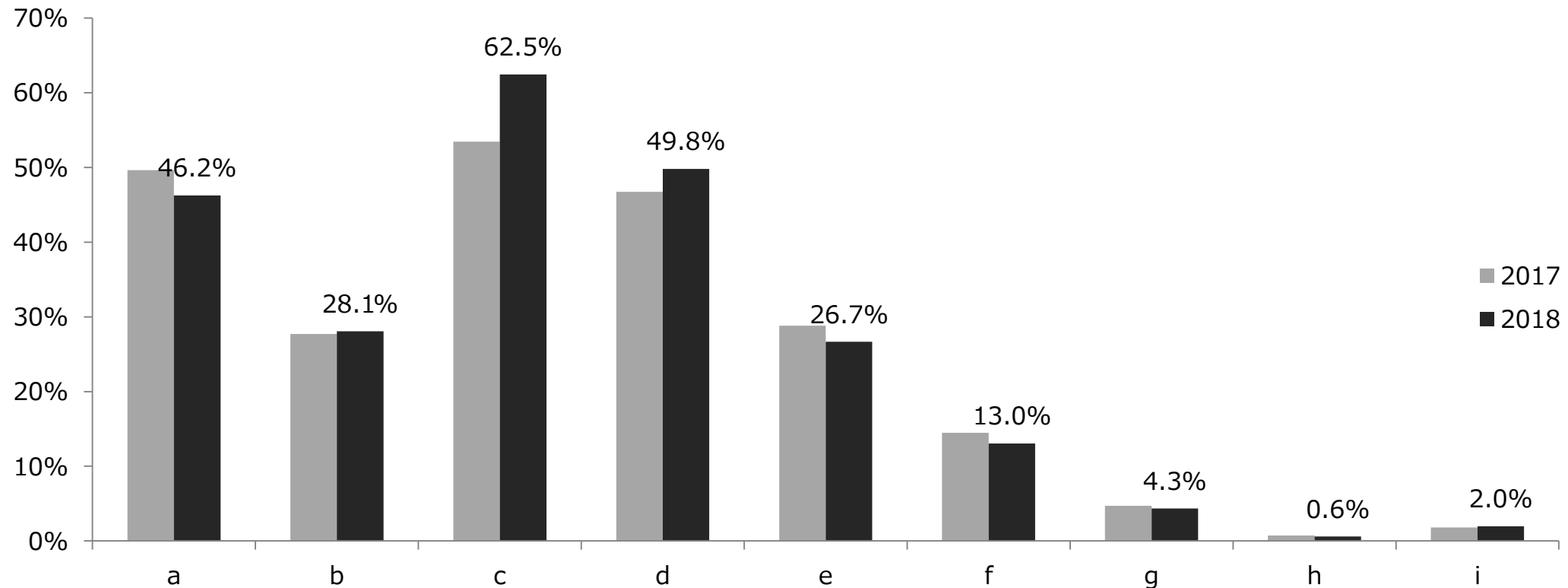


(回答数:2018年度:501, 2017年度:547,2016年度:529)

Q6. 株主総会についてお伺いします。

(4) 投資家の議決権行使に関して、今後投資家に期待することは何ですか。(3つまで選択可)

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| a. 議決権行使基準の開示の充実 | e. 議決権行使結果の開示の充実 |
| b. 議決権行使に関する対話の充実 | f. 議決権行使助言会社の適切な活用 |
| c. 対話等により個別企業の状況を踏まえた議決権行使の実施 | g. 議決権の電子行使 |
| d. 自社への議決権行使賛否理由の説明 | h. 利益相反管理の強化 |
| | i. その他その他（具体的には) |

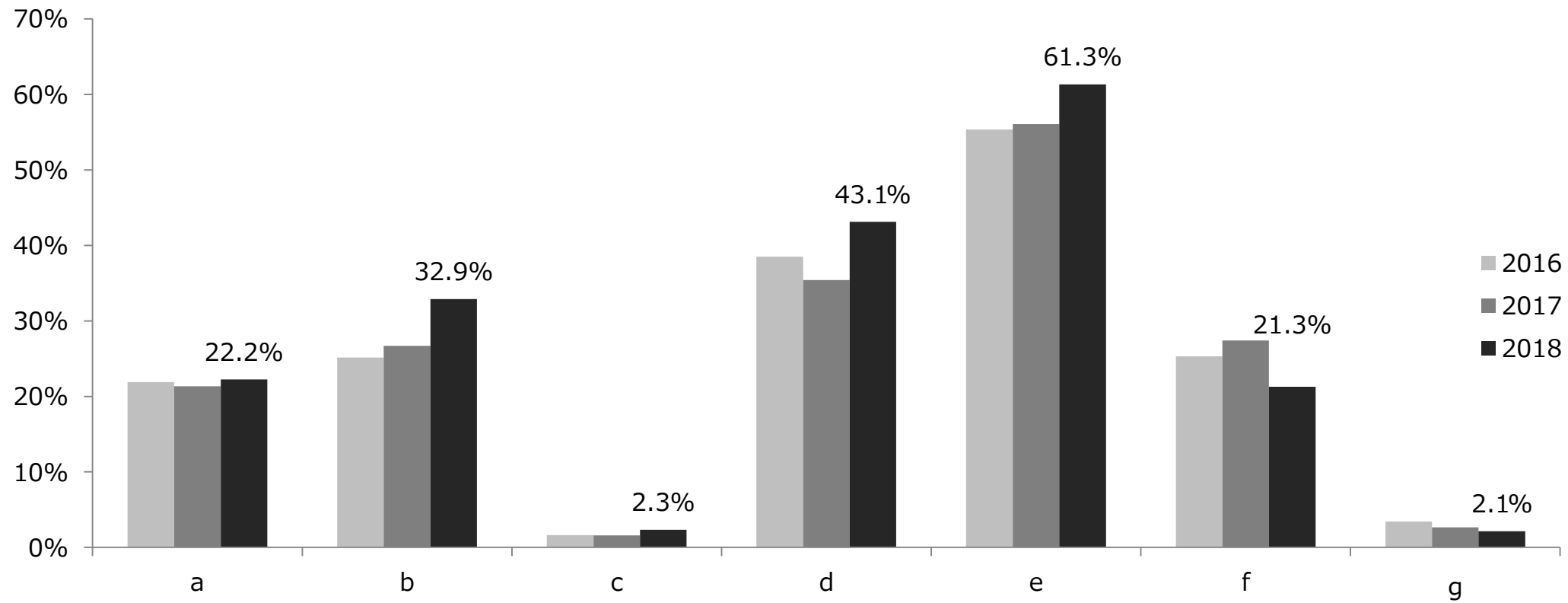


(回答数:2018年度:506, 2017年度:552)

Q6. 株主総会についてお伺いします。

(5) 過年度に反対が多かった議案に対して、どのような取り組みを実施していますか。(複数選択可)

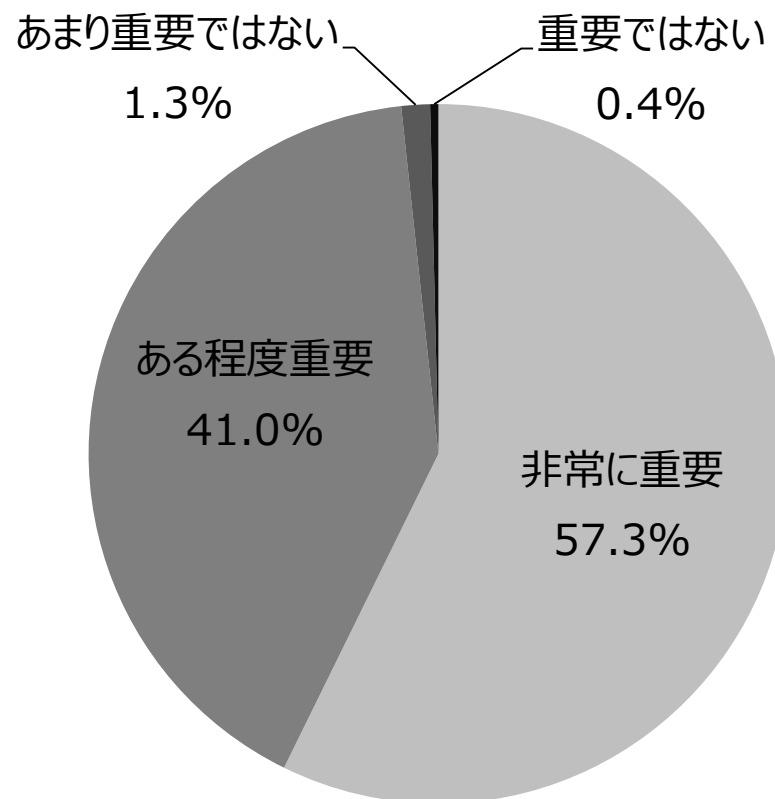
- a. 招集通知書への説明充実
- b. 投資家との対話
- c. 議案の修正・取り下げ
- d. 反対株主の分析
- e. 反対理由の分析
- f. 特段なし
- g. その他（具体的には)



(回答数:2018年度:517, 2017年度:562,2016年度:553)

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

(1) 経営にとって、ESGへの取り組みがどの程度重要だと考えていますか。（1つのみ選択可）

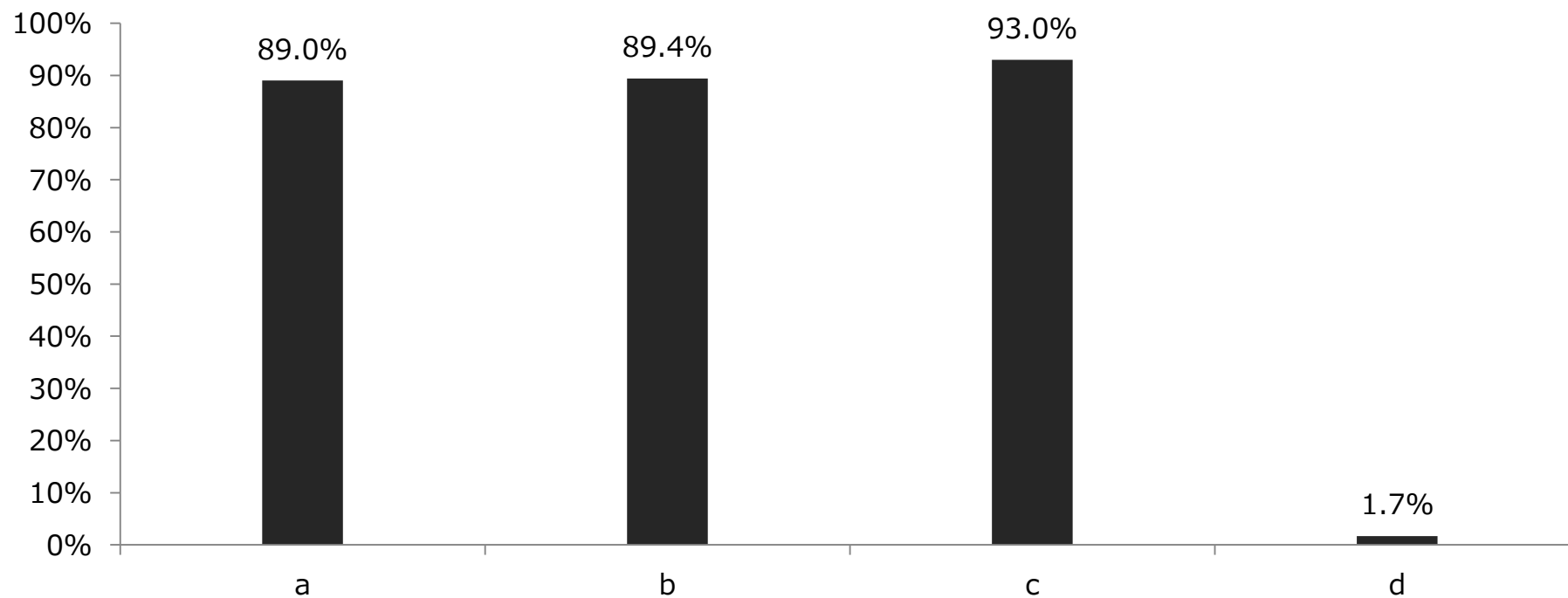


(回答数:2018年度:529)

Q7. 環境 (E) ・社会 (S) ・ガバナンス (G) (以下、「ESG」) への 取り組みについてお伺いします。

(2) 環境 (E) ・社会 (S) ・ガバナンス (G) に関する取り組みで実施しているものを全てお答え下さい。
(複数選択可)

- a. 環境 (E)
- b. 社会 (S)
- c. ガバナンス (G)
- d. どれも実施していない

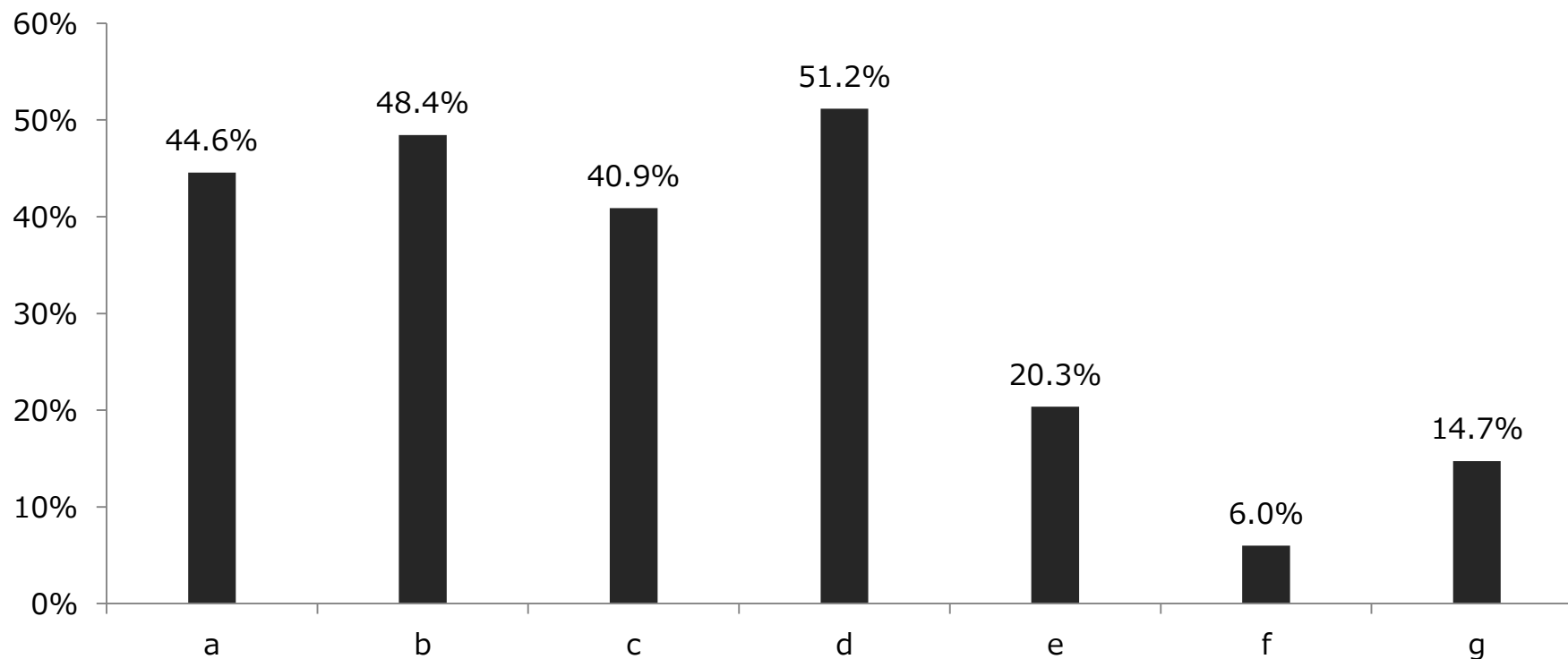


(回答数:2018年度:529)

Q7. 環境 (E) ・社会 (S) ・ガバナンス (G) (以下、「ESG」) への取り組みについてお伺いします。

(3) ESGへの取り組みをいずれの経営方針に組み込んでいますか。(複数選択可)

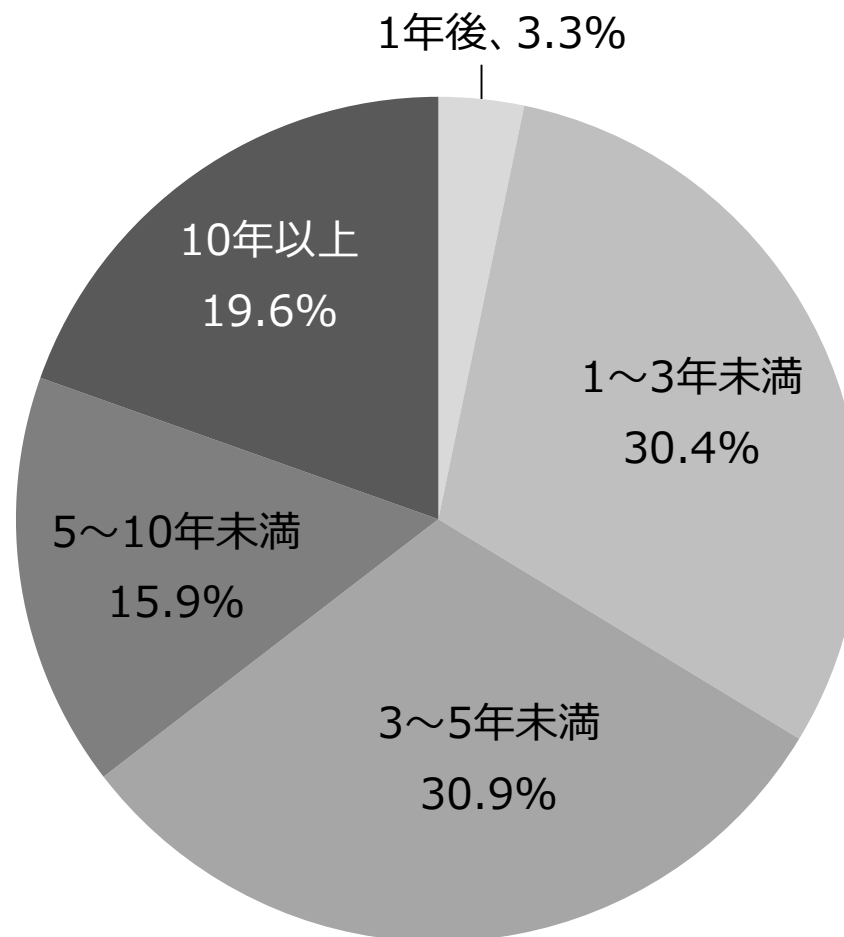
- a. 経営理念
- b. 行動指針
- c. 中期経営計画
- d. CSR方針
- e. 内部統制方針
- f. その他 (具体的には)
- g. 経営方針には組み込んでいない



(回答数:2018年度:516)

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

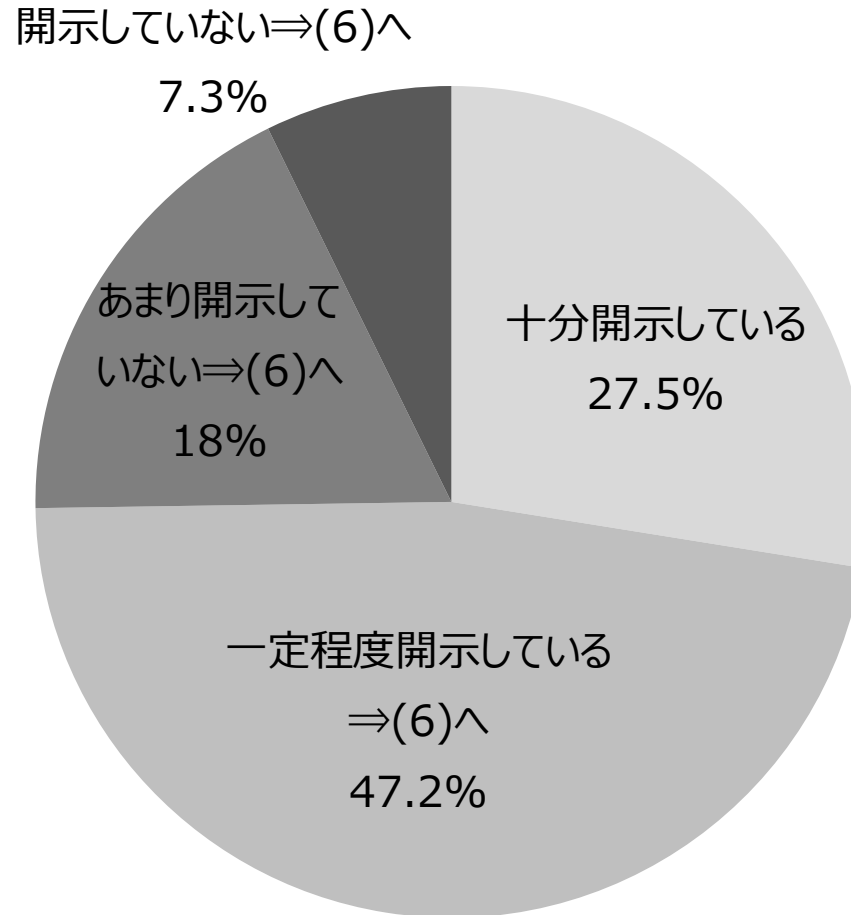
(4) ESGへの取り組みの実施にあたり、何年後を見据えた方針策定を行っていますか。
(1つのみ選択可)



(回答数:2018年度:460)

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

(5) ESGへの取り組みについて情報を開示していますか。（1つのみ選択可）

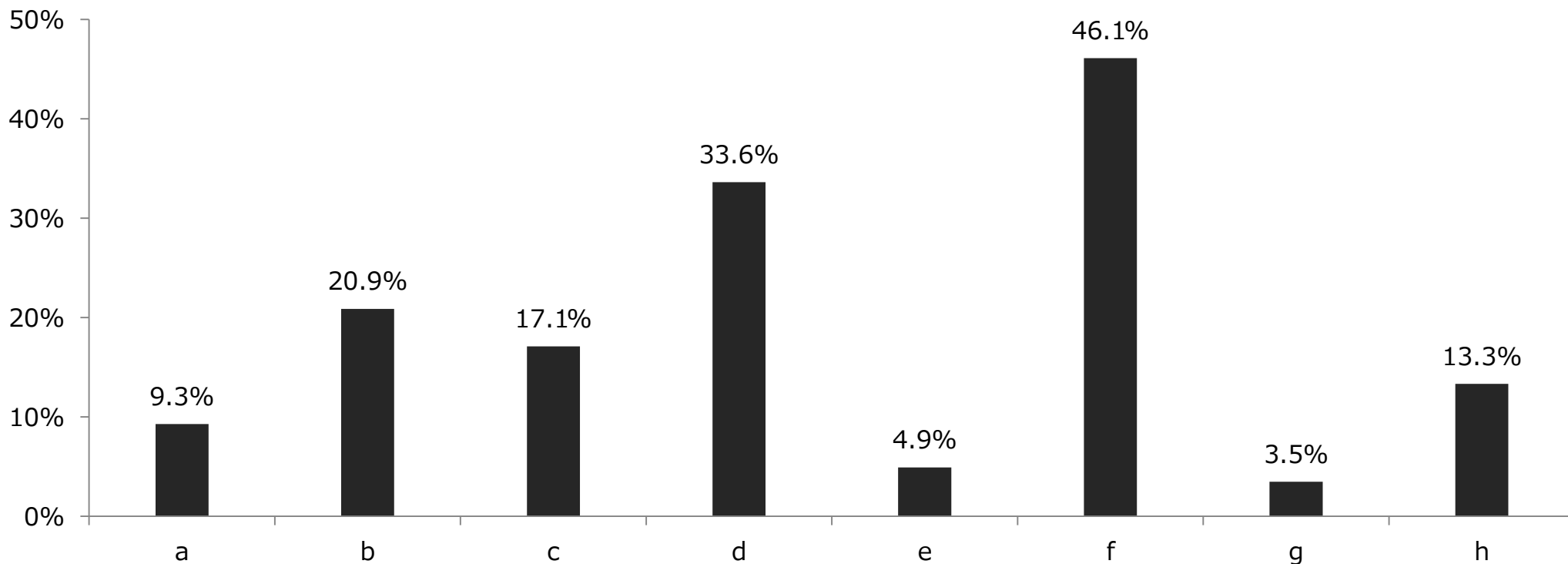


(回答数:2018年度:523)

Q7. 環境 (E) ・社会 (S) ・ガバナンス (G) (以下、「ESG」) への取り組みについてお伺いします。

(6) (5) でb・c・dを選択された企業にお伺いします。ESGへの取り組みについて情報開示が十分にできない理由についてお答え下さい。(2つまで選択可)

- a. 適切な情報開示手段がわからない
- b. 自社にとって重要なESG課題を特定できていない
- c. 投資家の求める情報がわからない
- d. 対応人員の不足
- e. 予算の制約
- f. ESG取り組み内容が情報開示するレベルに達していない
- g. 情報開示の必要性を感じない
- h. その他 (具体的には)

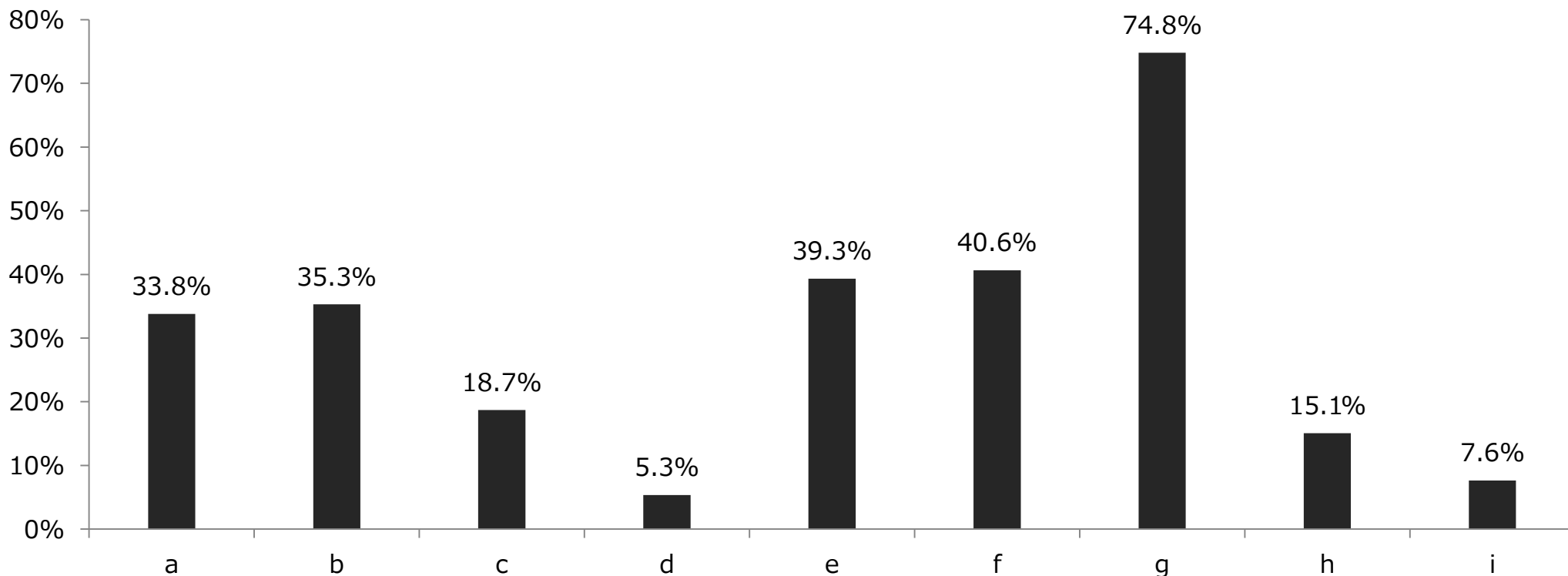


(回答数:2018年度:345)

Q7. 環境 (E) ・社会 (S) ・ガバナンス (G) (以下、「ESG」) への 取り組みについてお伺いします。

(7) ESGへの取り組みについて情報を開示している媒体をお答え下さい。(複数選択可)

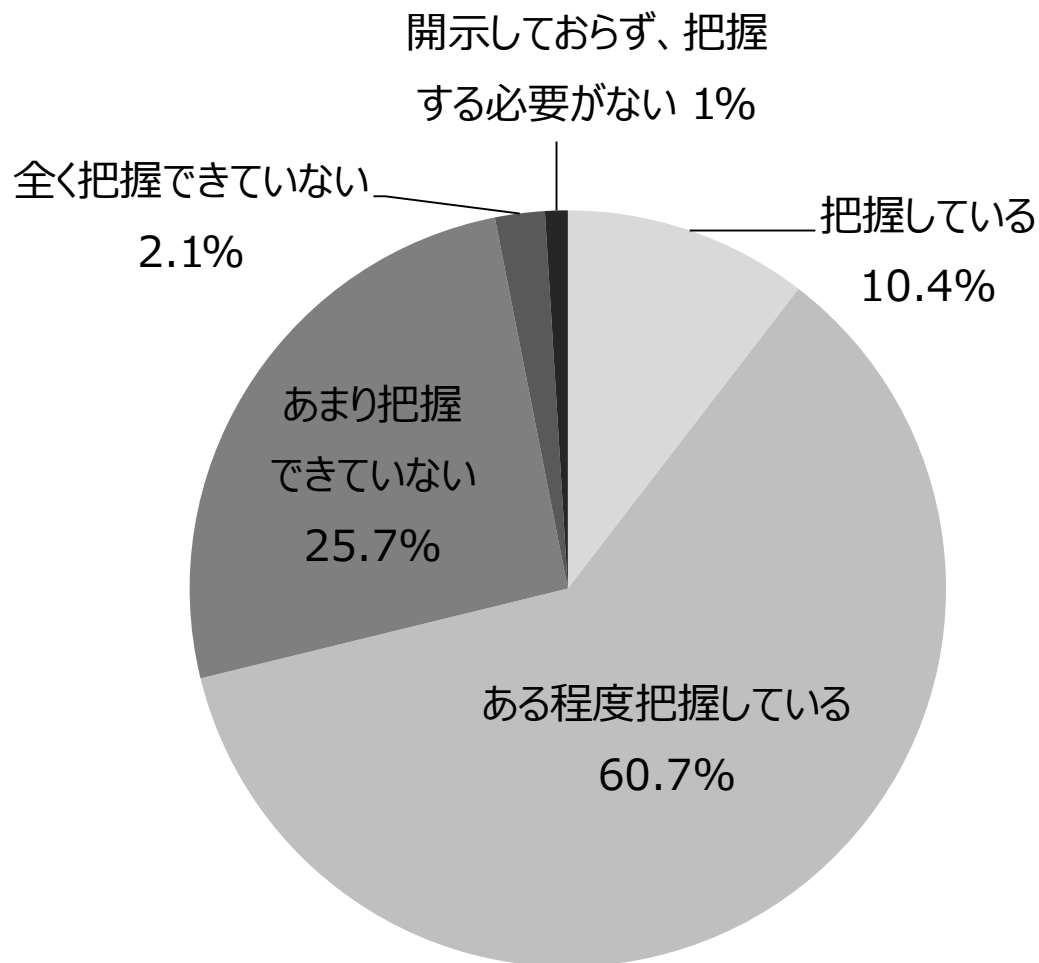
- a. 統合報告書
- b. IR説明会資料
- c. 有価証券報告書
- d. 決算短信
- e. コーポレート・ガバナンス報告書
- f. CSRレポート・サステナビリティレポート
- g. ホームページ
- h. その他(具体的には)
- i. 開示していない



(回答数:2018年度:524)

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

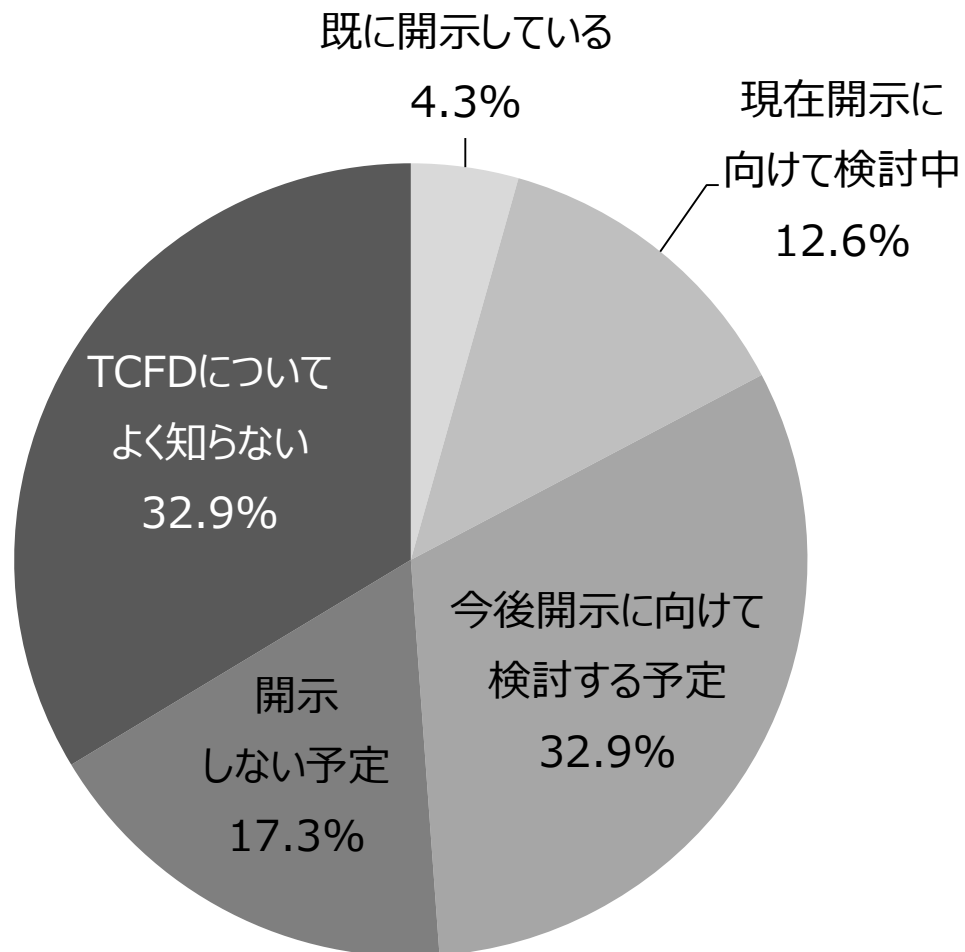
(8) ESGへの取り組みについて情報を開示するうえで、投資家に求められている情報は何か、把握していますか。（1つのみ選択可）



(回答数:2018年度:517)

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

(9) TCFDに基づく気候変動関連情報の開示を検討していますか。（1つのみ選択可）

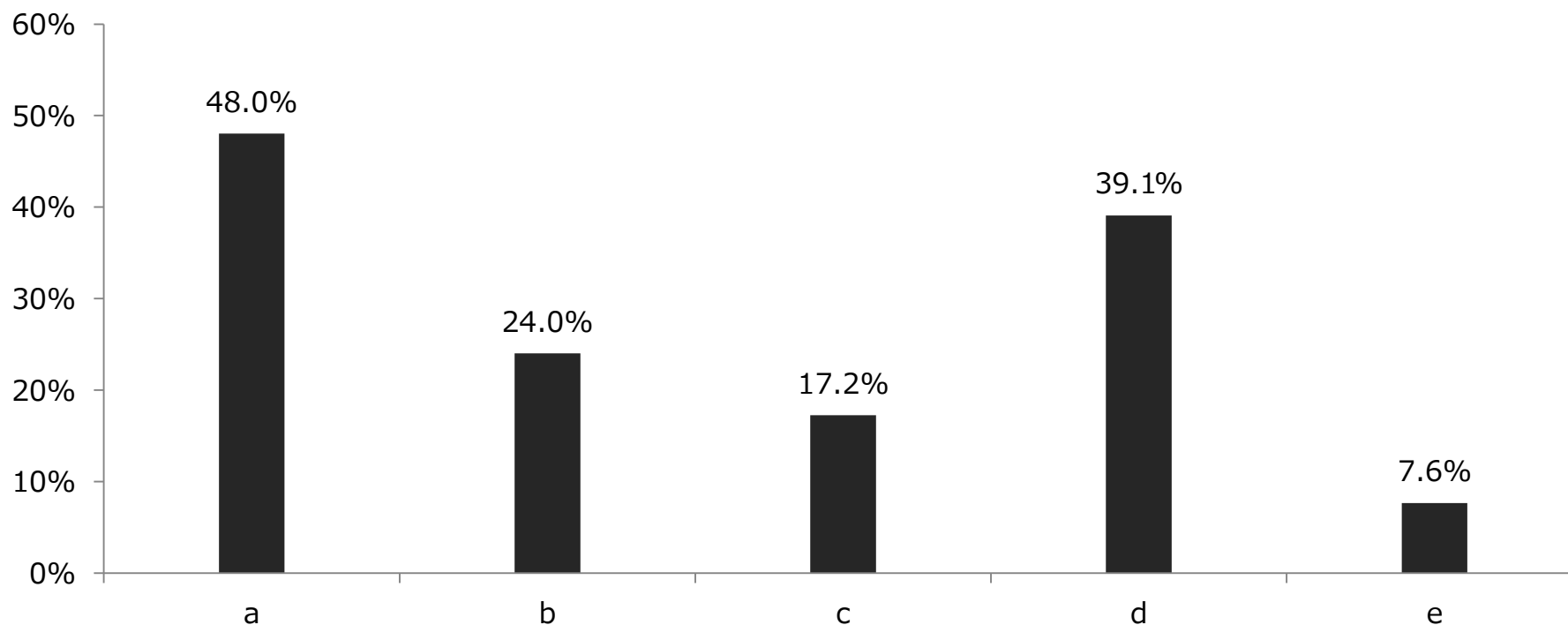


(回答数:2018年度:492)

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

（10） ESGへの取り組みを推進するにあたって行政に期待することは何ですか。（2つまで選択可）

- a. 情報開示制度の充実
- b. モデル企業の選定、表彰制度
- c. 相談窓口の設営
- d. 関連政策の立案における省庁間の連携強化
- e. その他（具体的には ）

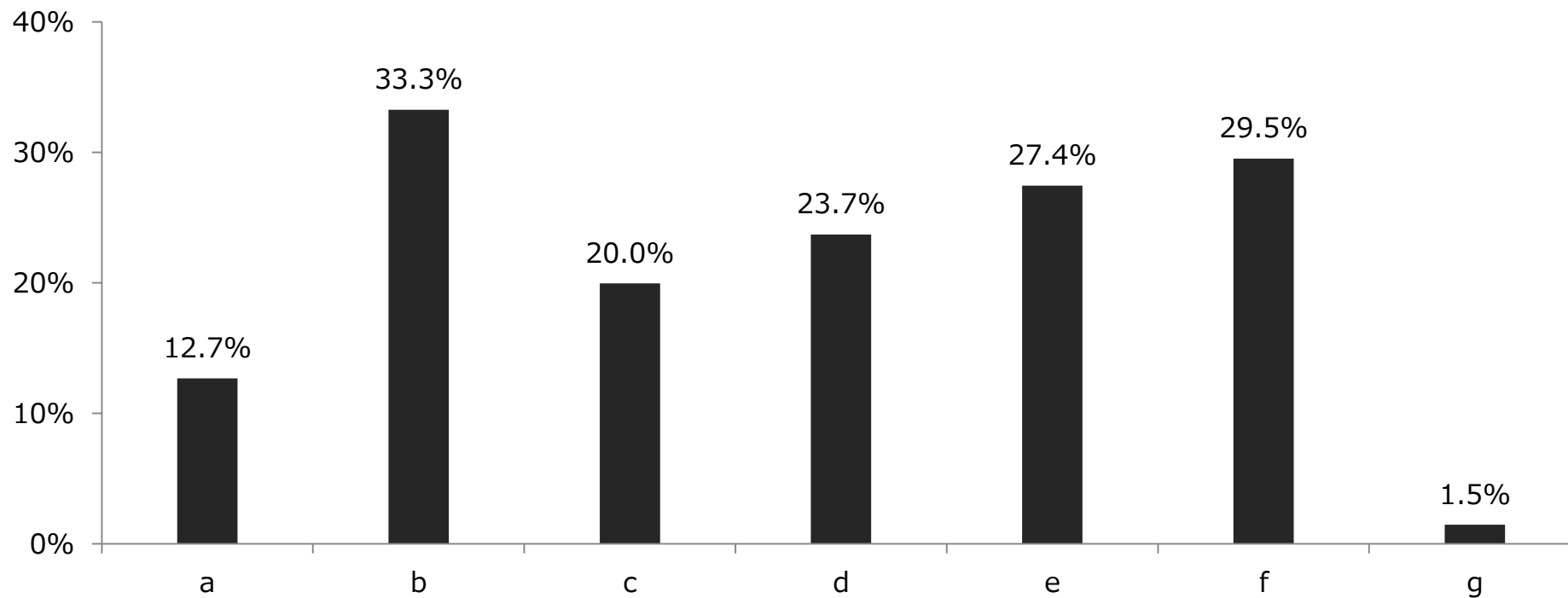


（回答数:2018年度:458）

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

(11) グリーンボンド、ソーシャルボンド等の発行を促進するために必要だと考えることは何ですか。
(2つまで選択可)

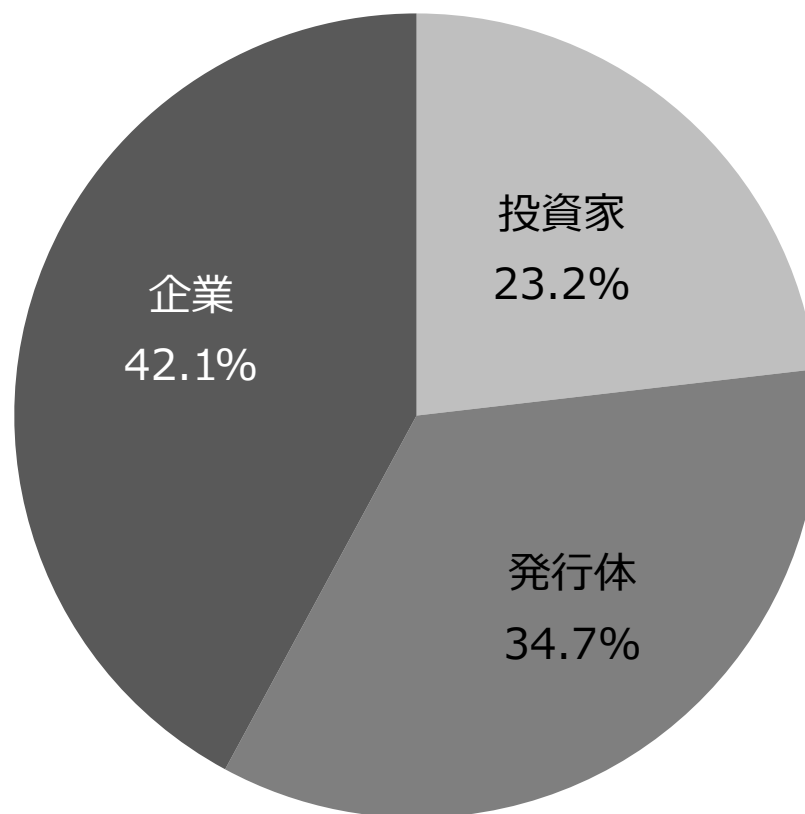
- a. 発行主体等に関する情報提供
- b. 市場での認知度・信頼性の確保
- c. 発行コスト・事務手続き負担の軽減⇒(12)へ
- d. 税制優遇や利子補給などの支援制度の充実
- e. 発行に対する社会的評価の仕組み
- f. 分からない
- g. その他（具体的には)



(回答数:2018年度:481)

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

(12) (11) でcを選択された企業にお伺いします。グリーンボンド、ソーシャルボンド等の発行・管理コストはどのステークホルダーが負担すべきだと考えますか。（1つのみ選択可）



(回答数:2018年度:95)